

令和3年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

調査方法 : 往復郵便・留置記入方式

(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、 その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)

調査対象 : 町内在住20歳以上の男女

(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)

配布票数 : 1,500件

調査期間 : 令和3年5月25日 ~ 令和3年6月15日

回収結果 : 回収票数707件(回収率 47.1%)

※郵送:606件、WEB:101件

目 次

			ページ
• 基本事	項集計結	F果(問 1 ~問 5) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
前期基本	本計画の)目標(指標)に関する結果一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
・問6「8	あなたは	は今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
• 問7「	あなたは	は町の施策全般について、どの程度満足していますか」	4
• 問 8 一	(1)	「地域に安心できる防災の仕組みがある」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・問8-	(2)	「町民が手洗いや咳エチケット(マスクの着用等)などの	
		感染予防に自主的に取り組んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
• 問 8 一	(3)	「消防・救護体制が整っている」	7
• 問8-	(4)	「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」 ・・・・	8
• 問 8 一	(5)	「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」	9
• 問8-	(6)	「安心して子どもを生み育てる環境が整っている」	1 0
• 問8-	(7)	「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	1 1
・問8-	(8)	「地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい」	1 2
・問8-	(9)	「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを	
		真剣に相談できる人間関係が構築されている」	1 3
・問8-	(10)	「障がいのある人が社会参加し、自立している」	1 4
• 問8-	(11)	「町内でユニバーサルデザインの取組が推進されている」 ・・・・	1 5
・問8-	(12)	「町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる」	1 6
・問8-	(13)	「必要な時に適切な医療が受けられる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7
・問8-	(14)	「高齢者が自立していきいきと暮らしている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8
・問8-	(15)	「介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが	
		受けられる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
・問8-	(16)	「生きる力を育む学校教育が行われている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
・問8-	(17)	「子どもの教育について、学校・家庭・地域の	
		連携が取れている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
・問8-	(18)	「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」	2 2
・問8-	(19)	「生涯学習活動の機会や場が充実している」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3
・問8-	(20)	「図書館が便利で使いやすい」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 4
・問8-	(21)	「町民が伝統文化や郷土を大切にしている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 5
• 問 8 一	(22)	「文化芸術に触れる機会が充実している」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 6
• 問 8 一	(23)	「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」 ・・・・・	2 7

• 問 8 -	(24)	「地域間交流や国際交流が活発に行われている」・・・・・・・・・	2 8
• 問 8 —	(25)	「小山町は企業誘致を活発に進めている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
• 問 8 -	(26)	「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」・・・・・・・	3 0
• 問 8 -	(27)	「「金太郎生誕の地おやま」の PR が行われている」 ・・・・・・・・	3 1
• 問 8 —	(28)	「富士山須走口についての情報発信が行われている」 ・・・・・・・	3 2
• 問 8 -	(29)	「小山町は"農業"の活性化に取り組んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3
• 問 8 —	(30)	「小山町は"林業"の活性化に取り組んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 4
• 問 8 —	(31)	「賑わいのある商業地づくりを行っている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 5
• 問 8 -	(32)	「町は移住・定住施策に積極的に取り組んでいる」	3 6
• 問 8 -	(33)	「町内の自然環境が適切に保全されている」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 7
• 問 8 —	(34)	「小山町は地球温暖化対策が進んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 8
• 問 8 -	(35)	「小山町はごみの減量化や資源化が進んでいる」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 9
• 問 8 -	(36)	「清らかで豊かな水資源が守られている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0
• 問8-	(37)	「町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
• 問8-	(38)	「安全な水道水が安定供給されている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
• 問8-	(39)	「汚水(下水)が適切に処理されている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 3
• 問 8 -	(40)	「道路網が便利で快適である」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 4
• 問 8 -	(41)	「計画的な土地利用が行われている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
• 問 8 -	(42)	「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした	
		美しいまちづくりができている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
• 問 8 -	(43)	「誰もが住みやすい住環境が整っている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 7
• 問 8 一	(44)	「自身が暮らす地域に満足できる	
		公園・緑地が確保されている」・・・・・・・・・・・・・・	4 8
• 問 8 -	(45)	「町民が自主的に参加してまちづくりを進めている」	4 9
• 問 8 一	(46)	「地域コミュニティが活発である」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
• 問 8 -	(47)	「普段の生活の中で、男女が平等である」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 1
• 問 8 -	(48)	「町からの必要な情報が適切に伝わっている」・・・・・・・・・・・	5 2
• 問 8 一	(49)	「小山町は周辺市町村と連携している」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3
• 問 8 -	(50)	「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の	
		情報が正確に伝わっている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 4
• 問 8 -	(51)	「小山町は日頃(有事の際も含む)から、	
		自衛隊と連携が取れている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 5
• 問 8 -	(52)	「町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い	

	行政運営を行っている」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 6
・問8- (53)	「町職員の窓口対応及び各種対応に満足している」・・・・・・・	5 7
・問8- (54)	「町は効率的・効果的な行政運営を行っている」	5 8
• 問 4 8	「普段から地元産(小山町・御殿場市)のお米を食べている」	5 9

◆◆◆◆◆ 基本事項集計結果 ◆◆◆◆◆

問1 あなたの性別は。

男性: 3 4 1 人 (48.2%) 女性: 3 5 3 人 (49.9%) 無回答: 1 3 人 (1.8%)

問2 あなたの年齢は。

20代: 39人 (5.5%) 50代:117人 (16.6%) 無回答:7人 (1.0%)

30代: 82人 (11.6%) 60代: 185人 (26.2%) 40代: 101人 (14.3%) 70代: 176人 (24.9%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。

問4 あなたは現在結婚されていますか。

結婚している(事実婚を含む):520人(73.6%)結婚していない:112人(15.8%)

結婚していたが、離婚・死別した: 69人 (9.8%) 無回答:6人 (0.9%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(別居を含む)

子どもがいる : 541人 (76.5%)

子どもはいない: 155人(21.9%) 無回答: 11人(1.6%)

子どもの人数

1 人: 8 1 人 (15.0%) 4 人: 2 5 人 (4.6%) 2 人: 2 5 7 人 (47.5%) 5 人: 3 人 (0.6%)

3人:154人(28.5%) 6人: 1人(0.2%) 無回答:20人(3.7%)

※各項目の分析について

問6以降の結果については、全体・地区別・男女(年齢)別に分析をしました。なお分析は、第5次 小山町総合計画前期基本計画の目標(指標)に関するもの(次頁参照)のみとしています。

今回、同時に調査を行った「男女共同参画について」「ごみの捨て方等について」「健康・子育て・保健事業について」「町の防災の取組について」「デジタル技術の利活用について」「自転車の活用について」「まちづくりへの意欲について」「SDGs について」「町のデマンドバスについて」「地元産のお米の消費状況について」の結果につきましては、それぞれの所管課において、事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ:小山町 企画政策課

76 - 6133

前期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

3 2 心意かな生涯学習の推進 問か(19) 生涯学習活動の機会や掲が実見している 43% 37% 39% 1 50% 42% 42% 41% 1 50% 42% 42% 42% 42% 42% 42% 42% 42% 42% 42		前期基本計画の施策 (ナンバーとタイトル)	アンケートNo.	町民アンケートによる目標(指標)	R1 (前々回)	R2 (前回)	R3 (今回)	前回と の比較	(目標)
3 日本の地域が関係の対象が大いであった。	1-1	自然災害への対策	問8-(1)	地域に安心できる防災の仕組みがある	48%	52%	54%	1	60%
1 日本 日本語で、北京の公子もからでき	1-2	危機管理体制の強化	問8-(2)	町民が手洗いや咳エチケット(マスクの着用等)などの感染予防に自主的に取り組んでいる	-	79%	84%	1	90%
1 日本の情報・非典の次のは大きなのである。	1-3	消防・救護対策の推進	問8-(3)	消防・救護体制が整っている	74%	66%	68%	1	80%
対している。	1-4	交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(4)	交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる	69%	80%	84%	1	90%
2	1-4	交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(5)	消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	65%	77%	79%	1	90%
2	2-1	子ども・子育て支援の充実	問8-(6)	安心して子どもを生み育てる環境が整っている	45%	57%	60%	1	60%
20日 関連機能性の関係があれられる機能			問8-(7)	町民が地域で互いに支え合って暮らしている	53%	57%	62%	1	70%
2-2		地域共生社会の実現に向けた取組	_		38%	36%	36%		55%
2 回		地域共生社会の実現に向けた取組	問8-(9)	地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている	28%	30%	30%	\rightarrow	55%
24		地域共生社会の実現に向けた取組			23%	24%	22%	1	55%
2-3						1		→	-
20日					36%	1		.1.	
## 14 全 5 万字では全性が変好の必要						1		→	-
## 25 力を行か学性管理が元大学						-	-	ı	
## 15						<u> </u>		→	
3.3 と思うが生産学的が経産 から (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15)			ријо (11)	1 C 0 の教育に フィーく、子は、 参展・ 地域の足跡が現場がくい 3	10/0	13/0	13/0	,	00/0
3-2 公型の水産性産型の機能	3-1	心豊かな生涯学習の推進			62%	63%	62%	↓	70%
## 12次の高級を変異 ## 0-20	3-2	心豊かな生涯学習の推進	問8-(19)	生涯学習活動の機会や場が充実している	51%	42%	41%	↓ ↓	50%
2-3	3-2	心豊かな生涯学習の推進	問8-(20)	図書館が便利で使いやすい	43%	37%	39%	1	50%
24	3-3	文化芸術活動の振興	問8-(21)	町民が伝統文化や郷土を大切にしている	54%	48%	49%	1	60%
### AFF *** レクリエーションが高かの解析 期に (2) 用込みは素がに発酵されてりに取り組んでいる(円換) 388 418 115 1 583 418 418 118 1 583 418 418 118 1 583 418 418 118 1 583 418 418 118 1 583 418 4	3-3	文化芸術活動の振興	問8-(22)	文化芸術に触れる機会が充実している	-	27%	25%	1	50%
2-5 世域間交流・国際交換の開催 場合の	3-4	スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(23)	町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	41%	36%	36%	\rightarrow	50%
41 三級氏工事の地密	3-4	スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(12)	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる (再掲)	36%	44%	41%	↓ ↓	55%
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	3-5	地域間交流・国際交流の推進	問8-(24)	地域間交流や国際交流が活発に行われている	30%	20%	22%	1	50%
特別の関係を所用した観光交流の経典 四5-07 全大郎と城の地路やきょの呼が行われている 488 40	4-1	三来拠点事業の推進	問8-(25)	小山町は企業誘致を活発に進めている	50%	51%	51%	\rightarrow	60%
## 地域影響を所用した観光交流の戦撃	4-2	地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(26)	町内の観光施設等で外国語表記が充実している	19%	21%	21%	\rightarrow	50%
## 地域影響を所用した観光交流の戦撃	4-2	地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(27)	「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている	48%	46%	48%	1	60%
## 15 かから最悪の振興と継承	4-2	地域資源を活用した観光交流の振興	問8-(28)		29%	26%	28%	<u> </u>	50%
括次の金属素が原例と接来 月88 音段の50 地元 (小川町 網報報刊) の31米を食べている 22% 21% 19% 1 75% 4-6 個の金融整備を建した体室の活性化 日8-(30) 小山町は * 体表** の活性化に取り組んでいる 75 95 10% 1 50% 4-6 地域性体を活かした移作性化の関連 同8-(30) 取りの 1 50% 4-6 地域性を活かした移作性の関連 同8-(30) 取りの 2 50% 1 50% 4-6 地域性を活かした砂味性の配き 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2					33%	34%	32%	j	_
4-4 適切な無林整備を超じた林寒の居性化 悶-60 か山町は"林東"の話性化に取り組んでいる 22% 21% 19% ↓ 50% ★ 5 版がいと活気があれる商産の展興 部-613 版計がのある商産制作でいる 7% 9% 10% ↑ 50% ★ 5 版がいと活気があれる商産の展興 部-613 版計がのある商産制作での経路 10% (20% セルビル産用での経路 10% (20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20%						1		1	_
## 1 日本					22%	1		1	_
4-6 地域特性を活かした移住定住の促進 問8-(3) 門は移住・定住協策に積極的に取り組んでいる ―― 37% 35% ↓ 50% ← 60% ←						1		†	
4-6 地域特性を活かした移性定性の促進 75-6 60% 7 6		7.4.1 = 1.4.7.1, 1.5.1.7 = 1.4.7.7, 4.4.7, 1							
5-1 恵主礼た環境の保全						1		†	
5-2 地球温暖化対策の推進									
5-3 質解糖燥型社会の構築 問8-(35) 小山町は二みの減量化や資源化が進んでいる 52% 40% 41% ↑ 60% 16-5 付きかで豊かな水質原の保全と活用 問8-(35) 清らかで豊かな水質原が保全と活用 問8-(36) 清らかで豊かな水質原が保全と活用 問8-(37) 情に対応な光質原が保全しれいる 196 34% 40% ↑ 50% 6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(37) 所3-(38) 安全な水道水が安定供給されている 90% 86% 86% → 95% 6-3 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(39) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所3-(19) 所名・(19) 所名・(04/0			1	
5-4 清らかで豊かな水資源の保全と活用 問8-(38) 清らかで豊かな水資源が守られている 19% 34% 40% ↑ 50% 22% 公共交運の維持・活性化 問8-(37) 町は快適な公共交運の整備に取り組んでいる 19% 34% 40% ↑ 50% 6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(38) 汚水(下水)が適切に処理されている 59% 57% 58% ↑ 70% 6-3 安全で快適な道路網の整備 問8-(40) 道路網が便利で快適である 20% 33% 37% ↑ 50% 6-4 活力ある土地利用の推進 問8-(41) 計画的な土地利用が行われている 29% 23% 27% ↑ 50% 6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 計画的な土地利用が行われている 48% 44% 42% ↓ 60% 6-6 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 諸土が住みや土い住環境が整っている 49% 44% 42% ↓ 60% 6-6 の長のな景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 間8-(43) 間8-(44) 自身が高き土地域に減定できる公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が高き土地域に減定できる公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が高り上地域に対している 20% 27% 27% 50% 6-7・1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ち、透明性・公本性の高い行政運営を行っている 40% 36% 37% ↑ 50% 7・2 参加と協働によるまちづくり 問8-(53) 町職員の金口対応及び各種対応に満足している 22% 22% 18% ↓ 50% 7・2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 間8-(41) 首般の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7・2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 間がようる必要な情報が適切に伝わっている 22% 24% 24% ↓ 50% 7・50% 7・2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 間がようる必要な情報が適切に伝わっている 22% 24% 34% 45% ↓ 50% 7・3 参加も依頼によるまちづくり 問8-(40) 間は効率も、効果の経済である 40% 39% 33% ↓ 55% 7・3 参加も依存が運営の推進 問8-(40) 町は両は周辺市町村と連携している 22% 24% 44% 44% → 70% 30% 24% 24% 34% 44% 44% 44% 44% 44% 44% 44% 44% 4					E90/			↓	-
6-1 公共交通の維持・活性化 問8-(37) 町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる 90% 86% 40% ↑ 50% 6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(38) 安全な水道大が安定供給されている 90% 86% 86% → 95% 6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(39) 汚水(下水)が適切に処理されている 59% 57% 58% ↑ 70% 6-3 安全で快適な道路網の整備 問8-(40) 道路網が使用で快適である 26% 33% 37% ↑ 50% 6-6 長好な景観の形成と住環境の整備 問8-(41) 計画的な土地利用の推進 問8-(42) 間8-(42) 間8-(43) 間8-(44) 間8-(42) 間8-(43) 間8-(44) 目 大が正確にはかきかく自然環境を活かした美しいまちづくりができている 45% 44% 42% ↓ 60% 6-6 長好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 間8-(43) 自身が暮ら寸地域に満足できる公園・緑地が確保されている 20% 27% 27% ↑ 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町日線に立ら、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(43) 町民の目とはたきか加してまちづくりを進めている 27% 32% 32% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(43) 町民の目とはたきか加してまちづくりを進めている 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(44) 町豚へ自46 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(44) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(44) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(44) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(44) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加を協働によるまちづくり 問8-(44) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町水の必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-5								l I	_
6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(38) 安全な水道水が安定供給されている 99% 86% → 95% 66-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(39) 汚水 (下水)が適別に処理されている 59% 57% 58% ↑ 70% 66-3 安全で快適な道路網の整備 問8-(40) 道路網が便利で快適である 26% 35% 37% ↑ 50% 66-4 活力ある土地利用の雑進 問8-(41) 計画的な土地利用が行われている 29% 23% 27% ↑ 50% 66-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている 48% 44% 42% ↓ 60% 66-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 誰もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 66-6 公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている 40% 36% 37% ↑ 50% 7-1 可民の自線に立った可政運営 問8-(53) 可は可民目線に立なった可政運営 問8-(53) 可職員の窓口対方及び各種対応に満足している 27% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 可民自会に立めた可及運営を行っている 27% 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 世級で近ろの主張を守の市である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が可に伝わっている 49% 44% 48% 48% 40% 7-70% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適口に伝わっている 49% 48% 48% 40% 7-70% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適口に伝わっている 49% 44% 48% 48% 40% 7-70% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適口に伝わっている 49% 44% 44% 45% 150% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の除と後側に伝わっている 41% 43% 46% ↑ 55% 55% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺市町村と連携している - 55% 55% 7-5% 1 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の除ら含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 55% 7-6 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の除ら含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 55% 7-6 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃であるのよりなどのからなどのよりなどのからなどのよりなどのからなどのからなどのからなどのからなどのよりなどのからなどのよりなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのな								↓	
6-2 安全な水の安定供給と適切な下水処理 問8-(39) 汚水(下水)が適切に処理されている 26% 35% 37% ↑ 70% 6-3 安全で快適な道路網の整備 問8-(40) 道路網が便利で快適である 26% 35% 37% ↑ 50% 6-6 長好な景観の形成と住環境の整備 問8-(41) 計画的な土地利用が行われている 29% 23% 27% ↑ 50% 6-6 長好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 富土山とはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている 48% 44% 42% ↓ 60% 6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 調もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 6-6 公園・緑地整備の推進 問8-(43) 調もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(43) 間ちばみを作者がに満足できる公園・緑地が確保されている 20% 27% 32% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の変わすな方でを経動なに満足している - 49% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 27% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 間8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 間8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 間8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 間8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 間8-(40) 地域コミュニティが活発である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 10% 40% 40% 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と指摘しまるように表がなる 10% 40% 40% 40% 39% 40% 10% 40% 40% 40% 40% 30% 40% 10% 40% 40% 40% 40% 40% 40% 40% 40% 40% 4								I ,	
6-3 安全で快適な道路網の整備 問8-(40) 道路網が便利で快適である 26% 35% 37% ↑ 50% 6-4 活力ある土地利用の推進 問8-(41) 計画的な土地利用が行われている 29% 23% 27% ↑ 50% 6-5 良好な景観の形成と仕環境の整備 問8-(42) 富土山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている 48% 44% 42% ↓ 60% 6-6 公園・終地整備の推進 問8-(42) 誰もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は可民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の窓口対応及び各種対応に満足している 27% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(43) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 50% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町に効率的・効果的な行政運営を行っている 49% 48% 48% → 70% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(54) 「間8-(55) 「間8-(56) 「日8-(56) 「日本中の・効果的な行政運営を行っている 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(54) 「日本中の院も含む)から、自衛隊と連携が取れている 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺市町村と連携している 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-6 で 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-76% 7-5% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-56 55% 53% ↓ 66% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-56 55% 53% ↓ 66% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-56 55% 53% ↓ 66% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-56 55% 53% ↓ 66% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同辺で駅が見き等の情報が正確に伝わっている 7-56 55% 53% ↓ 66% 1-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同びで駅が見き等の情報が正確に伝わっている						-		→ ^	
6-4 活力ある土地利用の推進 問8-(41) 計画的な土地利用が行われている 29% 23% 27% ↑ 50% 6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 富土山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている 48% 44% 42% ↓ 60% 6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(43) 誰もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 6-6 公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が暮ら土地域に満足できる公園・緑地が確保されている 40% 36% 37% ↑ 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている 49% 48% 48% → 70% 7-5 広坂連携の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている 22% 41% 33% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は同頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 188-(51) 188-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 188-(51)			_			-		1	
6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(42) 富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている 48% 44% 42% ↓ 60% 6-5 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(43) 誰もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 6-6 公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている 40% 36% 37% ↑ 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ら、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 27% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 40% 39% 33% ↓ 55% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている 49% 48% 48% → 70% 7-5 広域連携の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている 22% 41% 33% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% 18-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 76% 75% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 76% 75% 53% ↓ 65% 7-6			_			-		1	
6-6 良好な景観の形成と住環境の整備 問8-(43) 誰もが住みやすい住環境が整っている 20% 27% 27% → 50% 6-6 公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている 40% 36% 37% ↑ 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の窓口対応及び各種対応に満足している - 49% 52% ↑ 75% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的、効果的な行政運営を行っている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 76% 75% ↓ 65% 65% 18-(15) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 66% ↑ - 1			_					I	
6-6 公園・緑地整備の推進 問8-(44) 自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている 40% 36% 37% ↑ 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の窓口対応及び各種対応に満足している - 49% 52% ↑ 75% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町よらが・効果的な行政運営を行っている 49% 48% 39% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(54) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 58% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65%			_					1	
7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(52) 町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている 27% 32% 32% → 50% 7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の窓口対応及び各種対応に満足している - 49% 52% ↑ 75% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% → 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% → 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている 49% 48% 48% → 70% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% → 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% → 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 76% 75% → 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている 41% 43% 46% ↑ - 76% 7-6 では、 44% 7-6 では						-		→ •	
7-1 町民の目線に立った町政運営 問8-(53) 町職員の窓口対応及び各種対応に満足している - 49% 52% ↑ 75% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 18-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -	6-6							Ť	
7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(45) 町民が自主的に参加してまちづくりを進めている 22% 22% 18% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている 41% 43% 46% ↑ -						1		→	_
7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(46) 地域コミュニティが活発である 27% 24% 23% ↓ 50% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(54) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 18-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -						1		1	-
7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(47) 普段の生活の中で、男女が平等である 40% 39% 33% ↓ 55% 7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている 41% 43% 46% ↑ -					_	+		1	-
7-2 参加と協働によるまちづくり 問8-(48) 町からの必要な情報が適切に伝わっている 49% 48% 48% → 70% 7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 日8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -						+		1	_
7-3 効率的な行政運営の推進 問8-(54) 町は効率的・効果的な行政運営を行っている - 34% 33% ↓ 50% 7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共常 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 日8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -			_		40%	39%	33%	1	_
7-5 広域連携の推進 問8-(49) 小山町は周辺市町村と連携している 22% 41% 39% ↓ 50% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 日8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -	7-2	参加と協働によるまちづくり	問8-(48)	町からの必要な情報が適切に伝わっている	49%	48%	48%	\rightarrow	70%
7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(50) 無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている - 76% 75% ↓ 85% 7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 間8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -	7-3	効率的な行政運営の推進	問8-(54)	町は効率的・効果的な行政運営を行っている	-	34%	33%	↓	50%
7-6 地域住民と自衛隊との共存・共栄 問8-(51) 小山町は日頃 (有事の際も含む) から、自衛隊と連携が取れている - 55% 53% ↓ 65% 日8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -	7-5	広域連携の推進	問8-(49)	小山町は周辺市町村と連携している	22%	41%	39%	↓	50%
問8-(13) 必要な特に適切な医療が受けられる 41% 43% 46% ↑ -	7-6	地域住民と自衛隊との共存・共栄	問8-(50)	無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	-	76%	75%		85%
	7-6	地域住民と自衛隊との共存・共栄	問8-(51)	小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている	=	55%	53%		65%
問8-(15) 介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが受けられる 36% 39% 42% ↑ -			問8-(13)	必要な特に適切な医療が受けられる	41%	43%	46%	1	_
			問8-(15)	介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが受けられる	36%	39%	42%	1	_

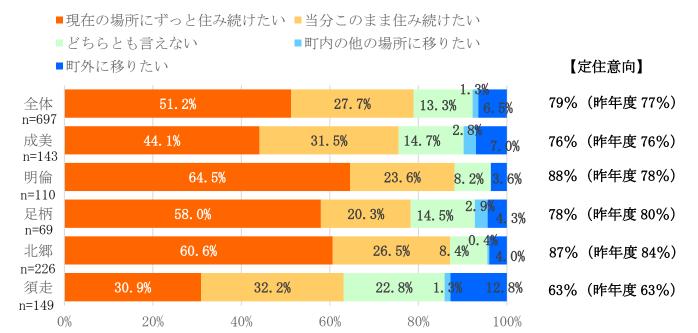
●アンケート実施期間:令和3年5月25日~令和3年6月15日
●アンケート発送数:1,500件
回収数:707件(郵送:606件、WEB:101件)
回収率:47.1%
(参考・・・昨年度回収票数:685通
昨年度回収率:45.7%)
●前回よりも評価が上がったもの(↑):23件
横ばいなもの(→):12件
2
下がったもの(↓):22件
※評価指標は無回答を除いて算出

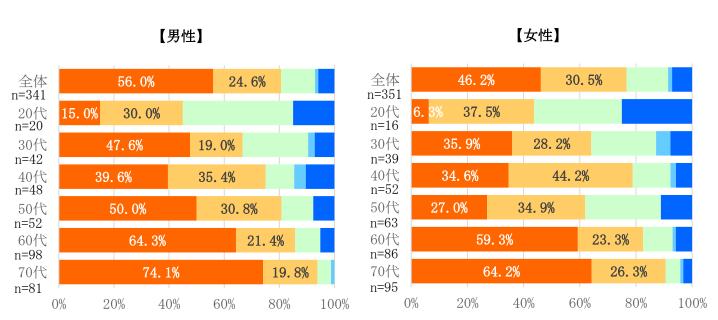
問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」

今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町 民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という<u>"定住意向"がある人の割合</u>とします。

定住意向がある人の割合 ⇒ 79% (昨年度 77%) ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。





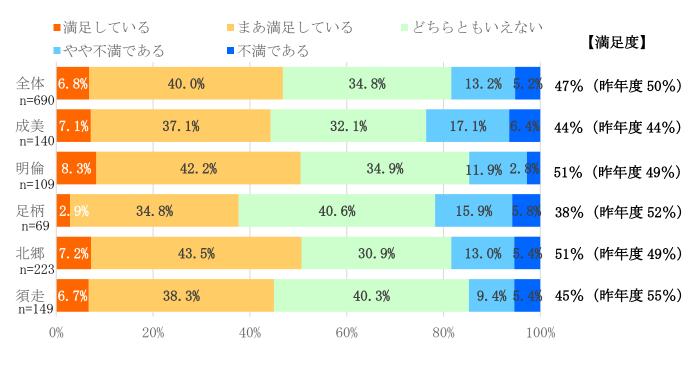
地区別の比較においては、明倫・北郷地区でそれぞれ10ポイント、3ポイント上昇しており、成美・ 須走地区は横ばい、足柄地区は2ポイント下降となりました。須走を除く4地区については、70%後半 ~80%後半となっており、特に明倫・北郷地区が高いと言えます。男女別の比較では、男性・女性とも 20歳代の定住意向が非常に低く、年齢を重ねるごとに定住意向が高まる傾向にあります。

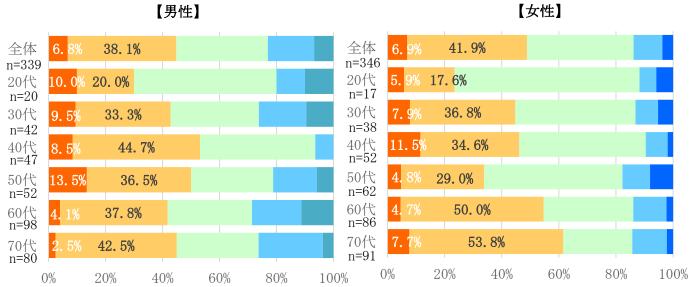
問7 「あなたは、町の施策全体について、どの程度満足していますか。」

今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全体に満足している人の割合とします。

町の施策全体に満足している人の割合 ⇒ 47% (昨年度 50%) ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



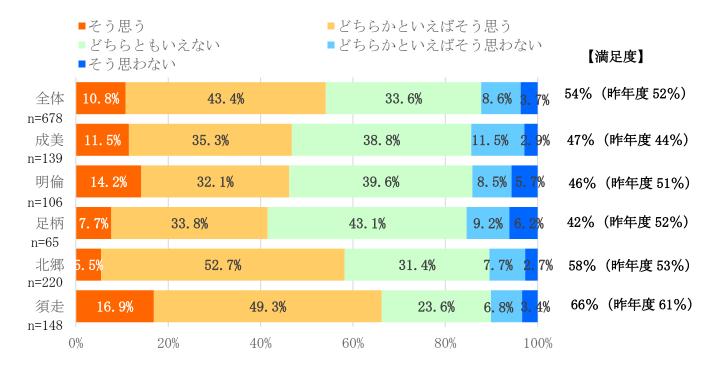


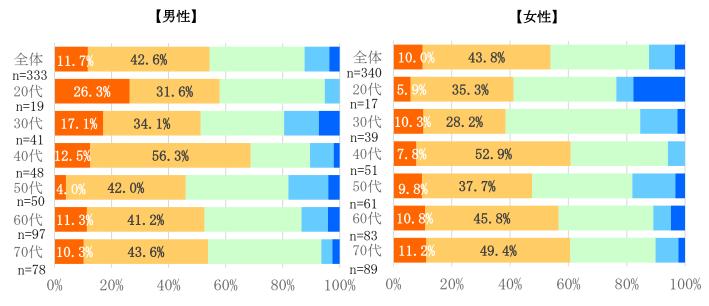
地区別の比較では、明倫・北郷地区の満足度が高く、足柄地区が低いという結果となっています。男女 (年齢) 別の比較では、男性は、40歳代、50歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。女性は、60歳代、70歳代の満足度が高く、20歳代、50歳代の満足度が低いという結果となっています。

※問8の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を、『町民の満足度』としています。

問8-(1) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

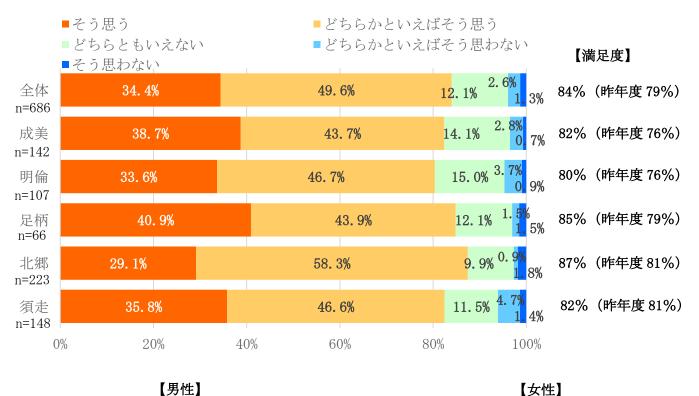
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **54% (昨年度 52%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

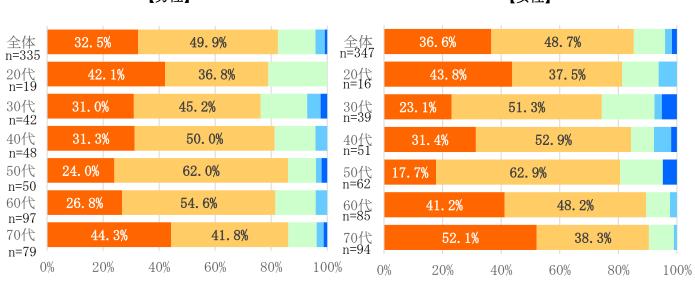




地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、足柄地区の満足度が低いという結果となっています。 男女(年齢)別の比較では、男性は、40歳代の満足度が高く、50歳代の満足度が低いという結果となっています。女性は、40歳代、70歳代の満足度が高く、20歳代、30歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8-(2) 「町民が手洗いや咳エチケット(マスクの着用等)などの感染予防に 自主的に取り組んでいる」

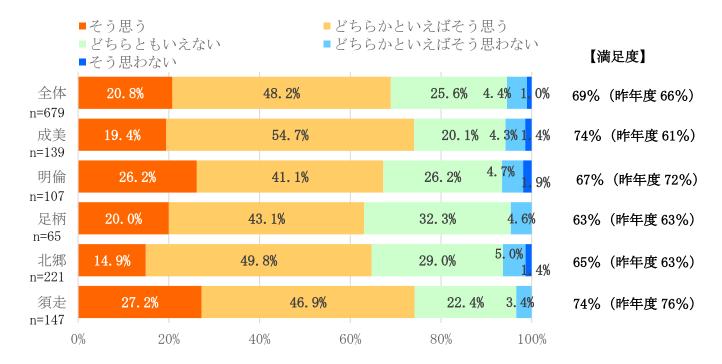


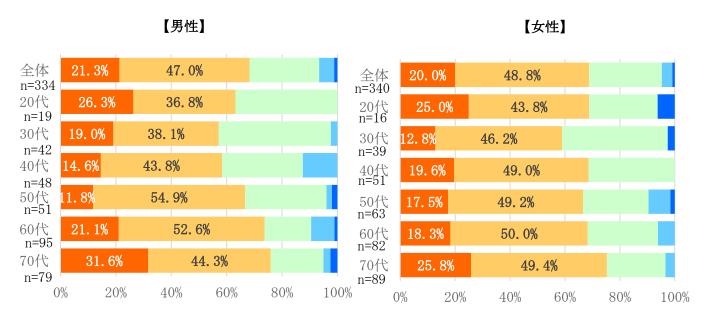


地区別の比較では、どの地区も高めで、北郷地区が最も高くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代、70歳代の満足度が高く、女性は、60歳代、70歳代の満足度が高いという結果となっています。

問8-(3) 「消防・救護体制が整っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **69% (昨年度 66%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

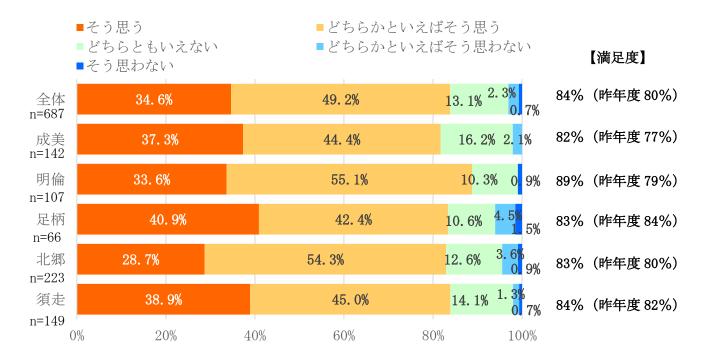


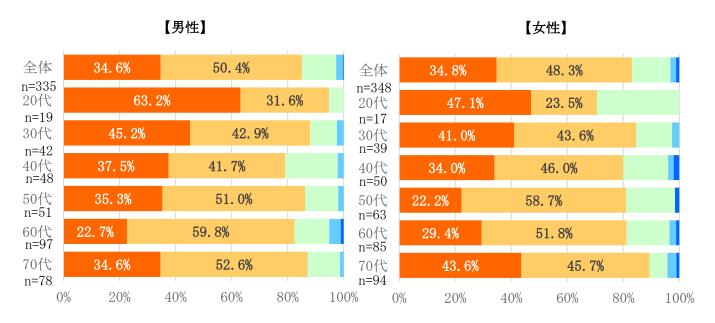


地区別の比較では、成美・須走地区が高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、60歳代、70歳代の満足度が高く、30歳代、40歳代の満足度が低いという結果となっています。女性は、70歳代の満足度が高く、30歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8-(4) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **84% (昨年度 80%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

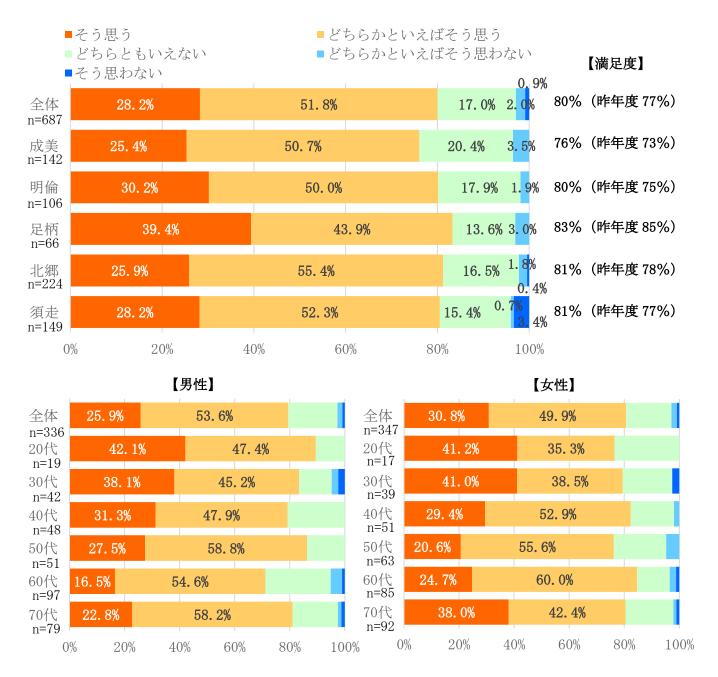




地区別の比較では、どの地区も高めで、明倫地区が最も高くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代の満足度が高く、女性は、70歳代の満足度が高いという結果となっています。

問8-(5) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

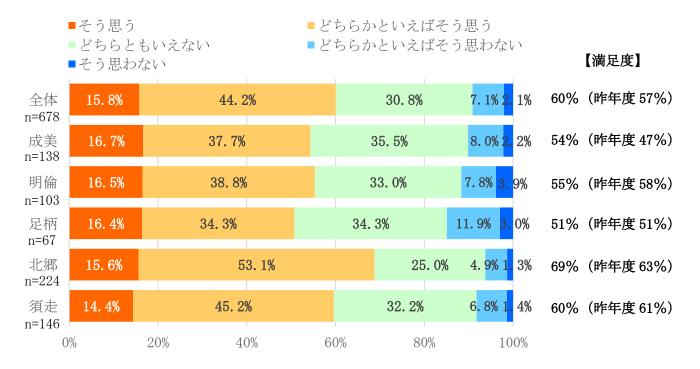
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **80% (昨年度 77%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

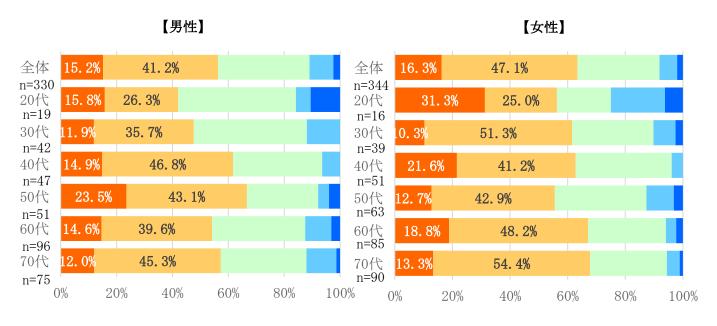


地区別の比較では、どの地区も高めで、足柄地区が最も高くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代、50歳代の満足度が高く、女性は、40歳代、60歳代の満足度が高いという結果となっています。

問8-(6) 「安心して子どもを生み育てる環境が整っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 60% (昨年度 57%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

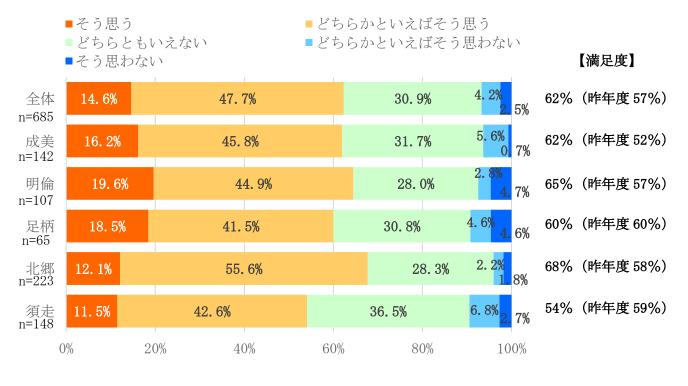


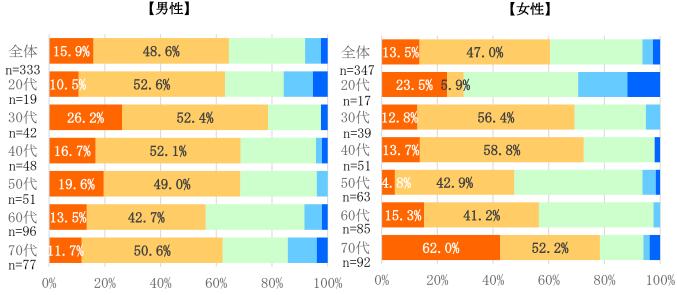


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、60歳代、70歳代が高く、20歳代、50歳代が低いという結果となっています。

問8-(7) 「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 62% (昨年度 57%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

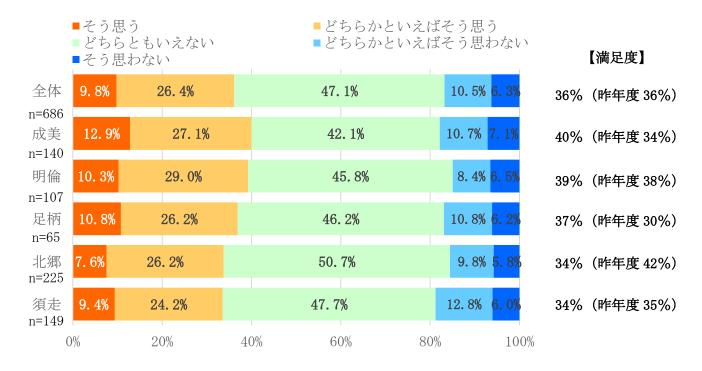


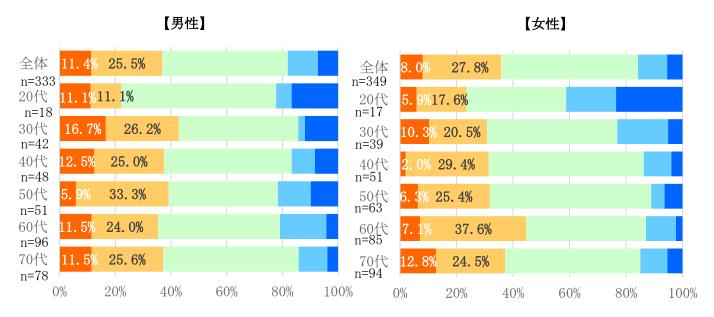


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(8) 「地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **36% (昨年度 36%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

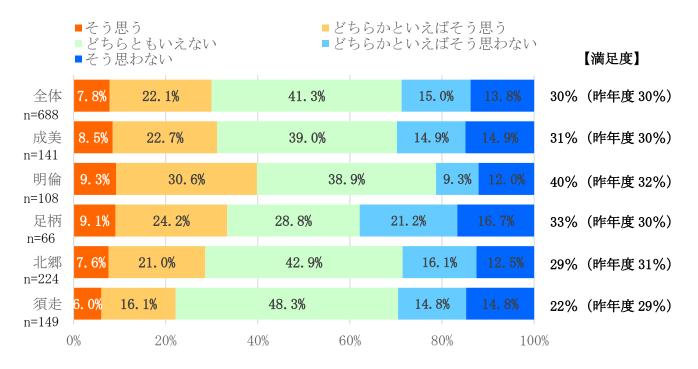


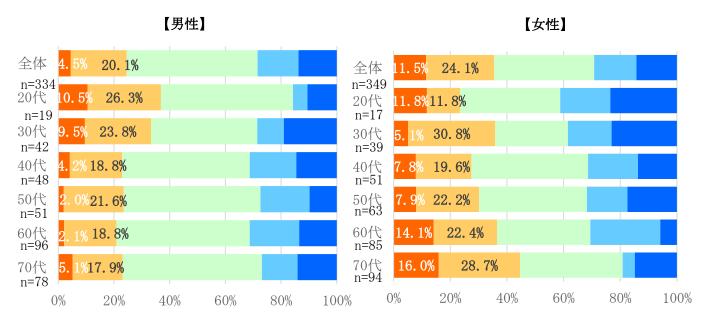


地区別の比較では、成美地区が最も高く、北郷・須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、60歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(9) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **30% (昨年度 30%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

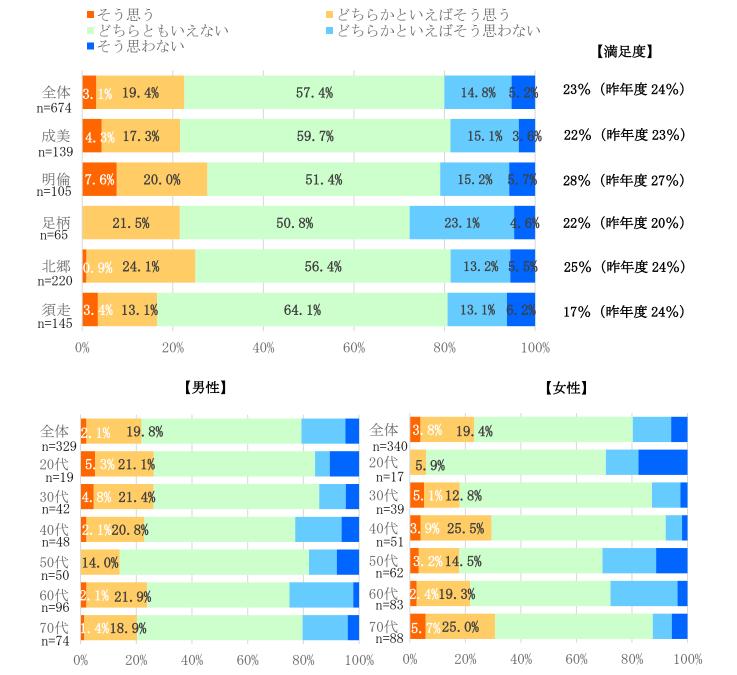




地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(10) 「障がいのある人が社会参加し、自立している」

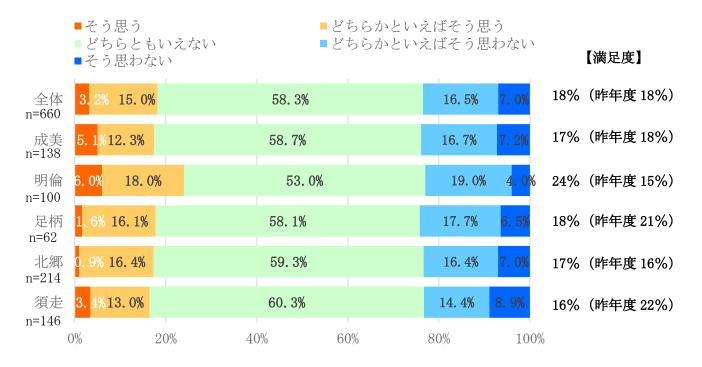
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **23% (昨年度 24%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

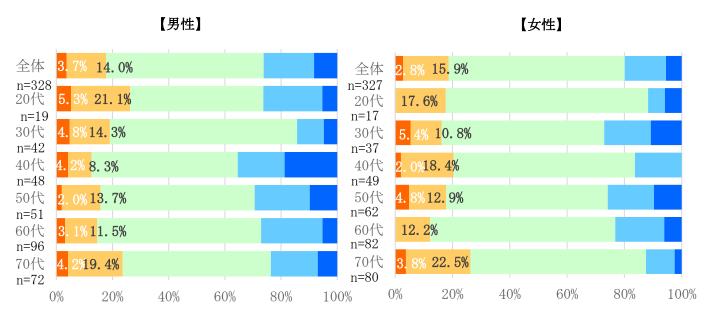


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代、30歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(11) 「町内でユニバーサルデザインの取組が推進されている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **18% (昨年度 18%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

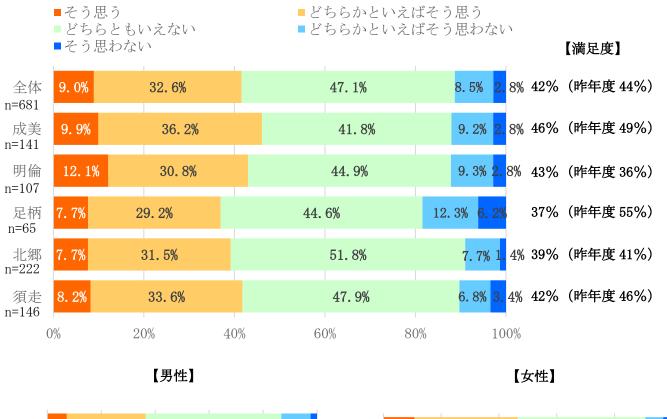


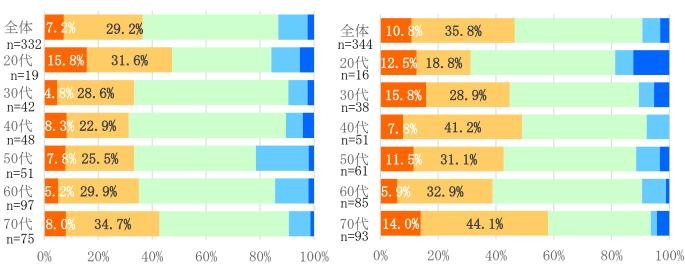


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(12) 「町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **42% (昨年度 44%) ※**無回答除く **全**体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

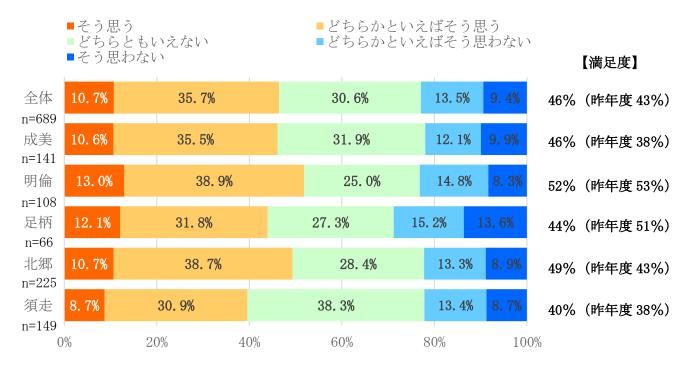


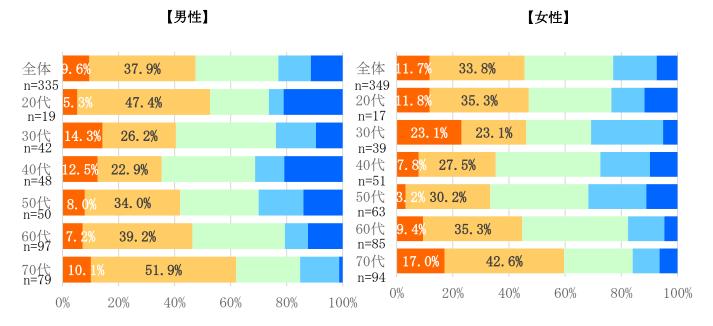


地区別の比較では、成美地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(13) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **46% (昨年度 43%) ※**無回答除く **全**体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

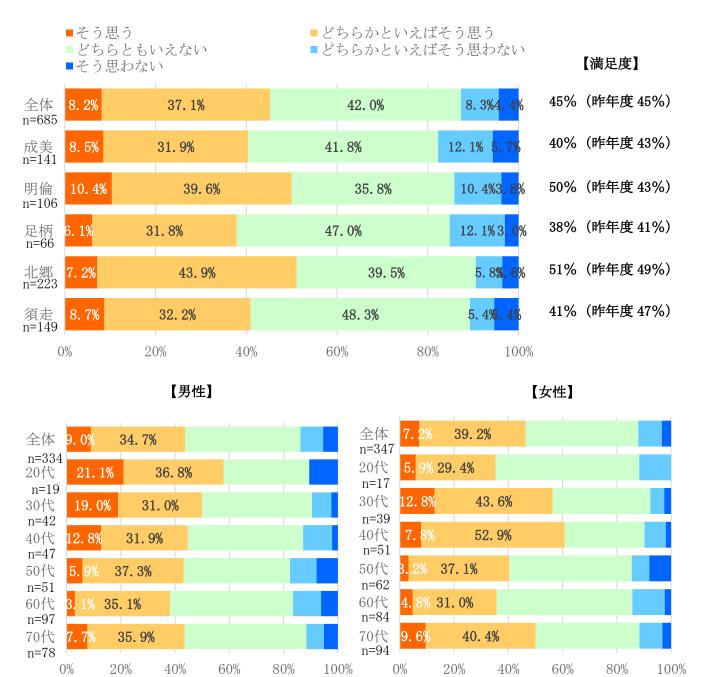




地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。

問8-(14) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

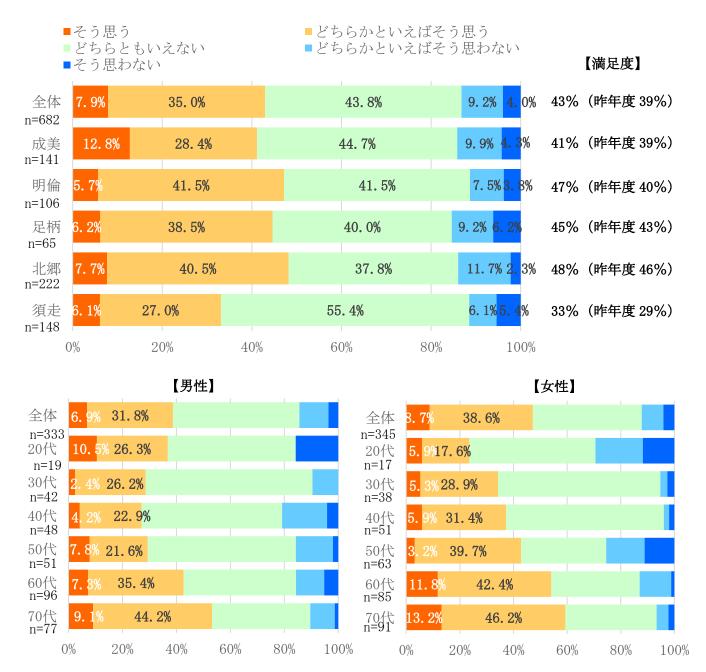
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **45% (昨年度 45%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、40歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

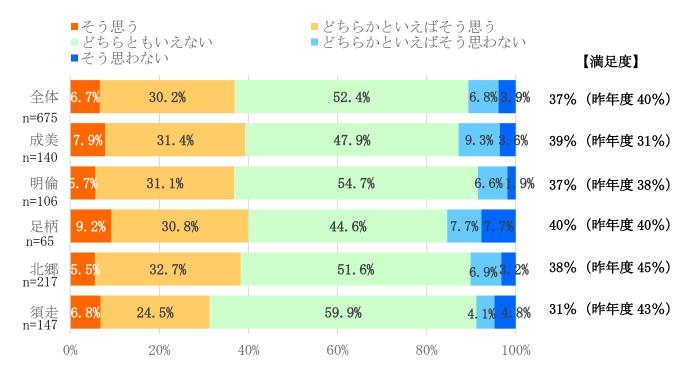
問8-(15) 「介護が必要な状態になった場合に適切なサービスが受けられる」

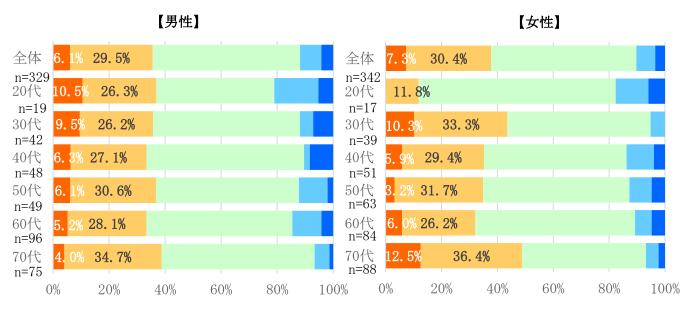
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **43%(昨年度 39%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(16) 「生きる力を育む学校教育が行われている」

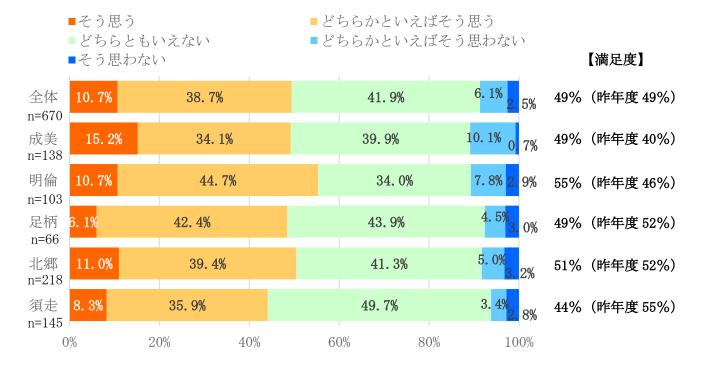


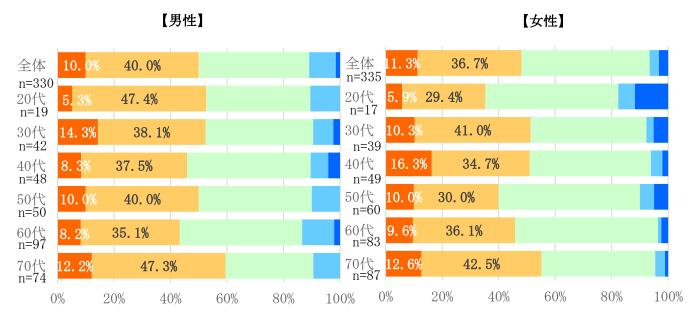


地区別の比較では、足柄地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、40歳代、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(17) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

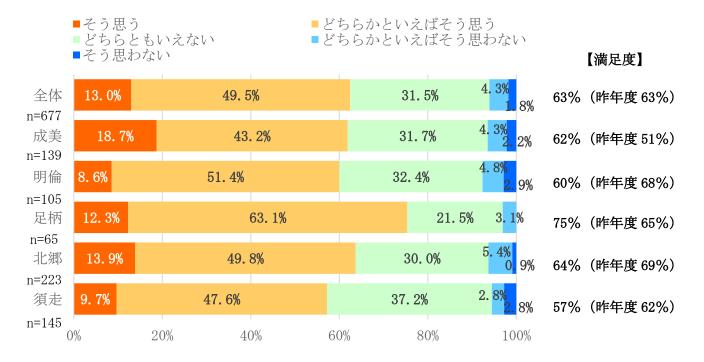
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **49%(昨年度 49%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

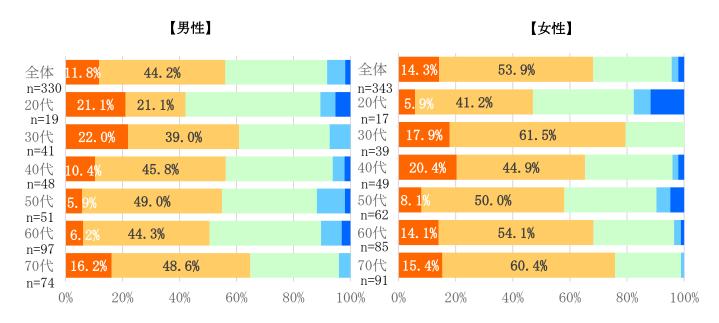




地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(18) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

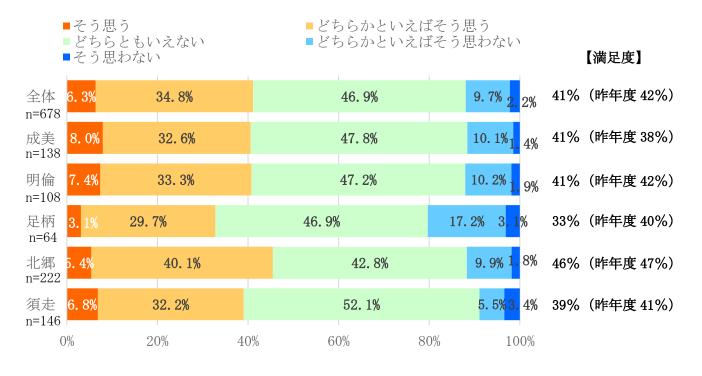


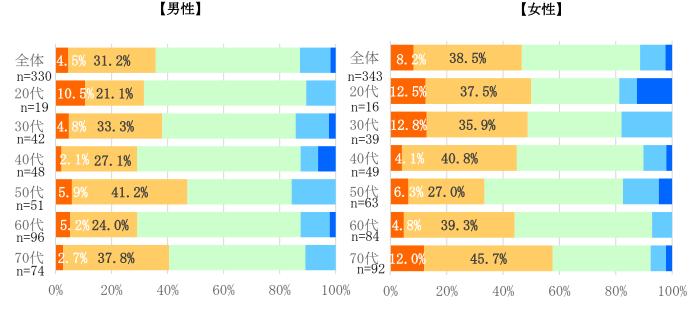


地区別の比較では、足柄地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性では、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(19) 「生涯学習活動の機会や場が充実している」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 41% (昨年度 42%) 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。 ※無回答除く

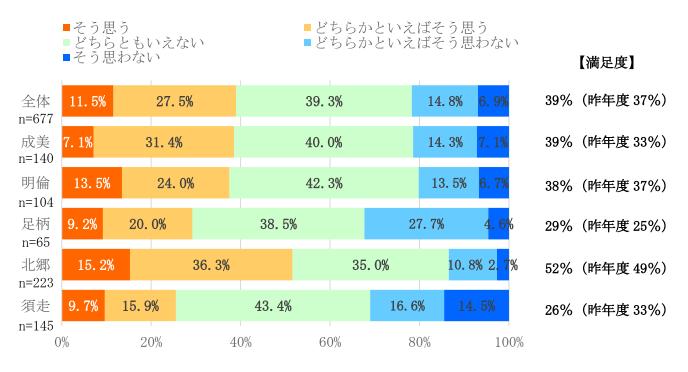


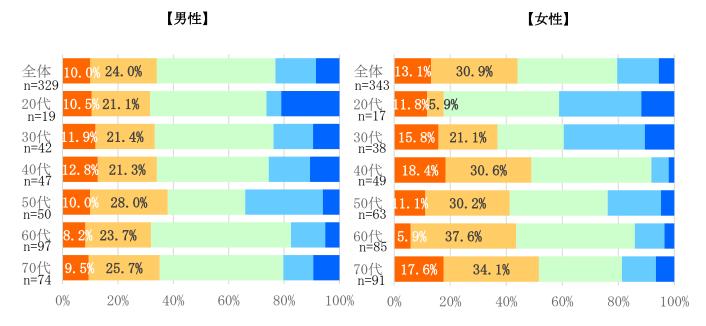


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。

問8-(20) 「図書館が便利で使いやすい」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **39% (昨年度 37%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

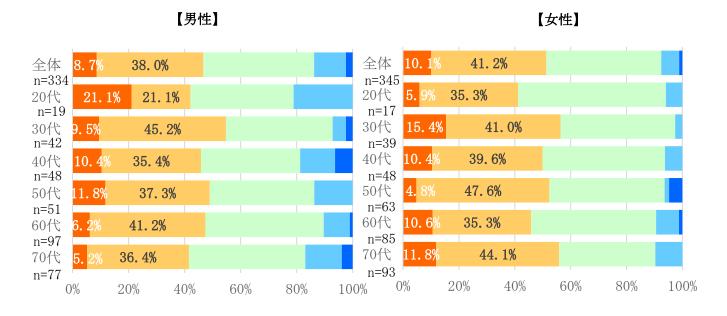




地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(21) 「町民が伝統文化や郷土を大切にしている」

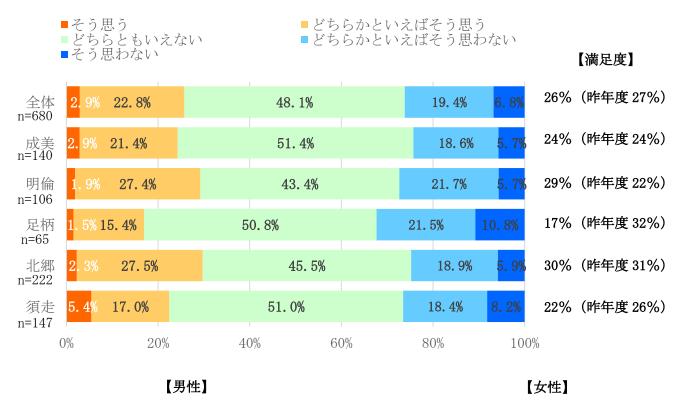
■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■どちらともいえない ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない 【満足度】 8.8% 1.8% 49% (昨年度 48%) 全体 9.4% 39.6% 40.5% n=684_{4%} 43%(昨年度 42%) 11.3% 1 成美 7. 1% 36.2% 44.0% n=141明倫 11.3% 0.9% 44% (昨年度 40%) 43.4% 12.3% 32. 1% n=1069.1% 0.0% 50% (昨年度 47%) 足柄 6.1% 43.9% 40.9% n=66 北郷 10.3% 43.3% 37.5% 7.6% 1.3% 54% (昨年度 53%) n=224須走 9.5% 40.8% 39.5% 6. 1% 4. 50% (昨年度 52%) n=1470% 20% 40% 60% 80% 100%

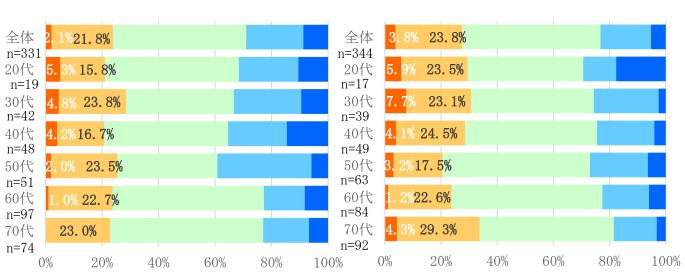


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(22) 「文化芸術に触れる機会が充実している」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **26% (昨年度 27%)** 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。 ※無回答除く

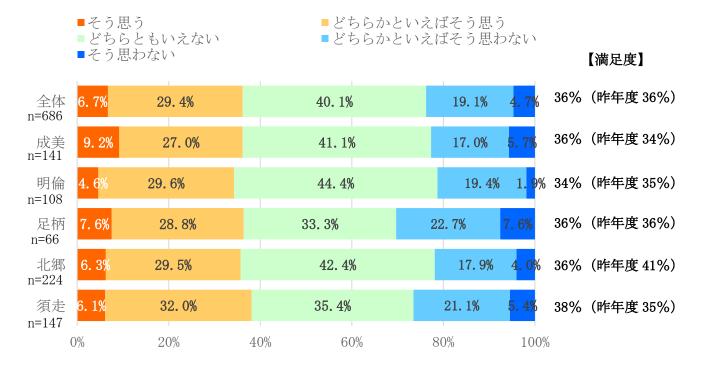


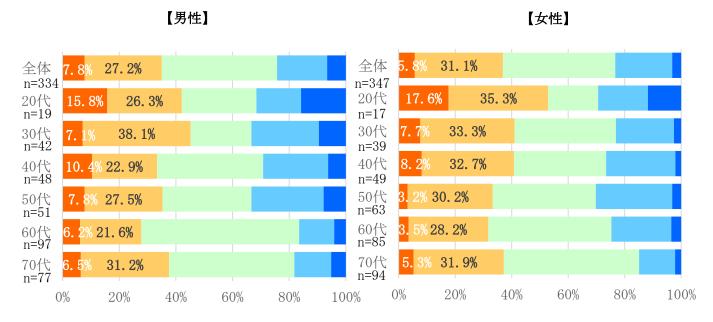


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。

問8-(23) 「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **36% (昨年度 36%) ※**無回答除く **全**体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

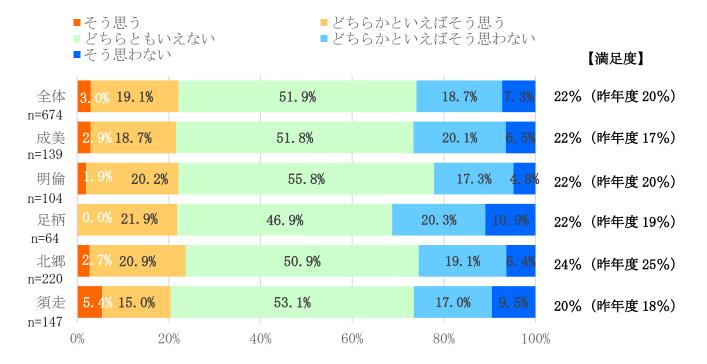


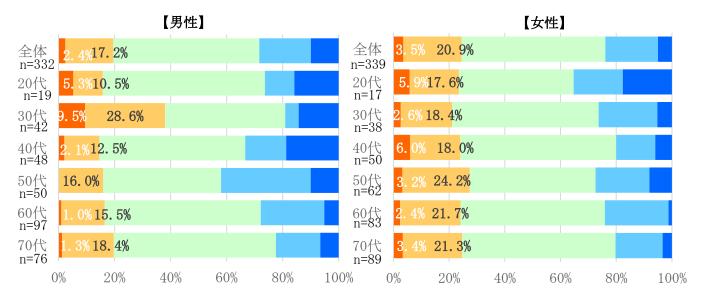


地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(24) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 22% (昨年度 20%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

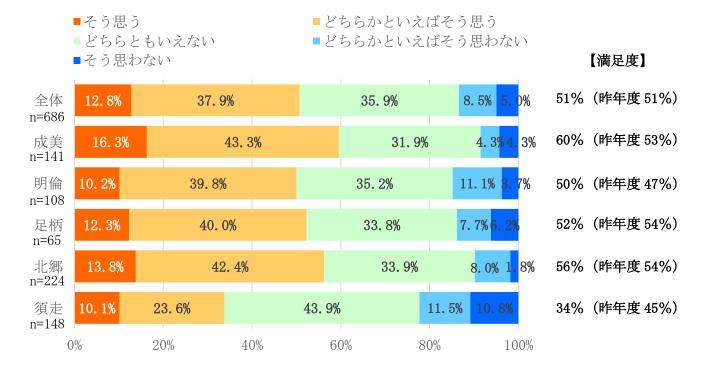


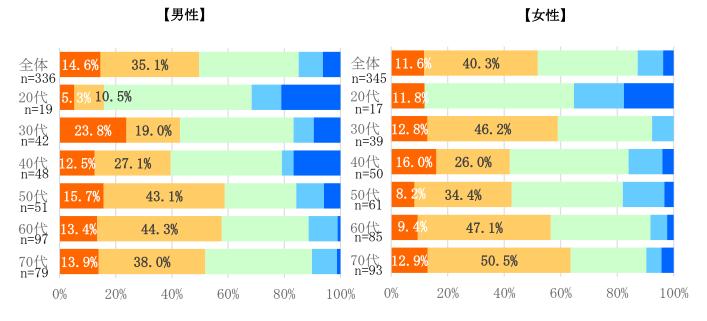


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、50歳代が高く、30歳代が低いという結果となっています。

問8-(25) 「小山町は企業誘致を活発に進めている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 51% (昨年度 51%) 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。 ※無回答除く

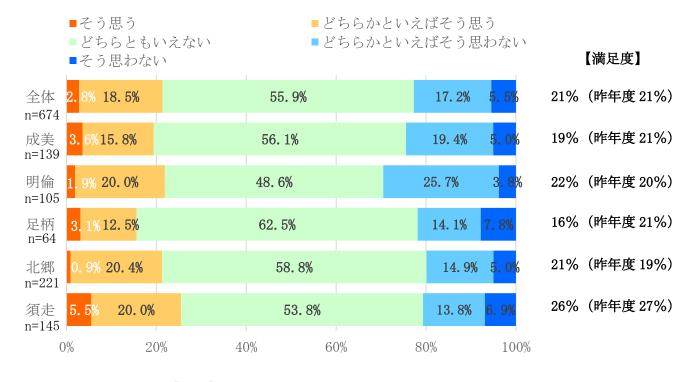


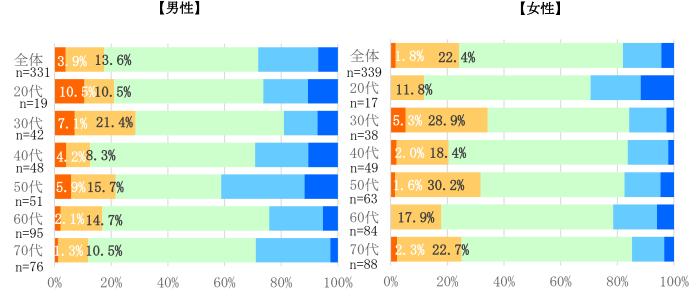


地区別の比較では、成美地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(26) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 21% (昨年度 21%) ※無回答除く全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

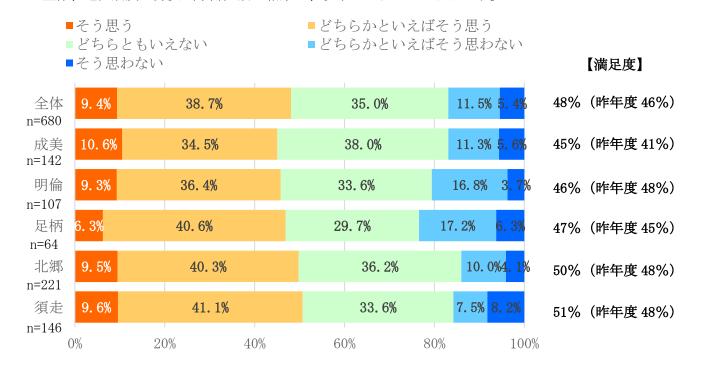


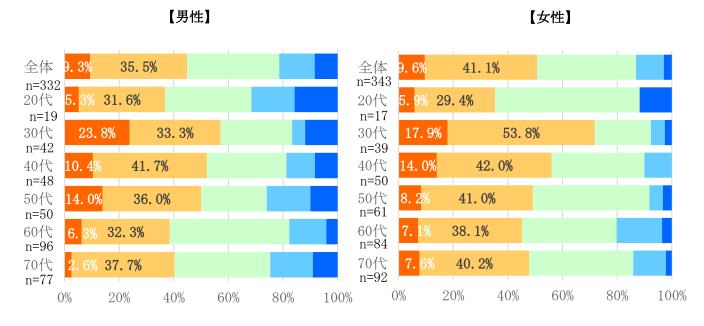


地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

間8-(27) 「"金太郎生誕の地おやま"の PR が行われている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **48% (昨年度 46%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

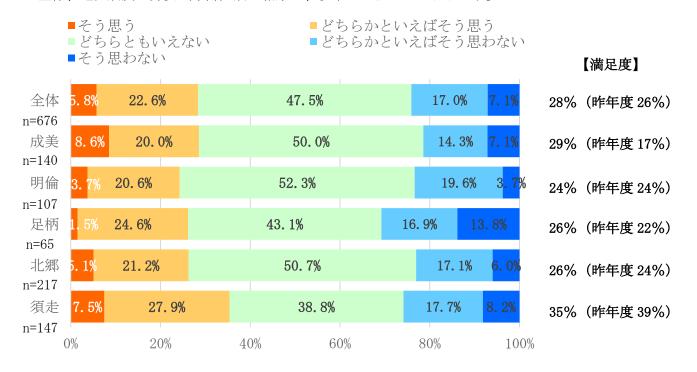


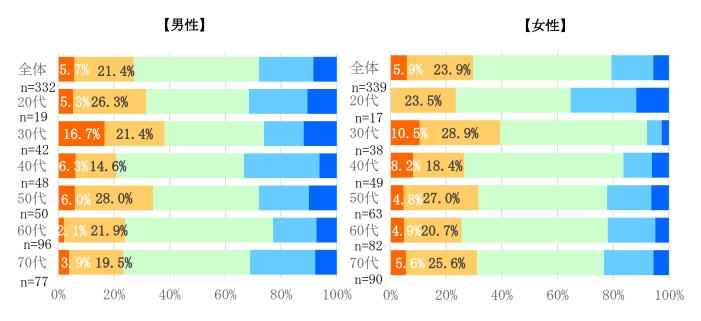


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

間8-(28) 「富士山須走口についての情報発信が行われている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **28% (昨年度 26%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

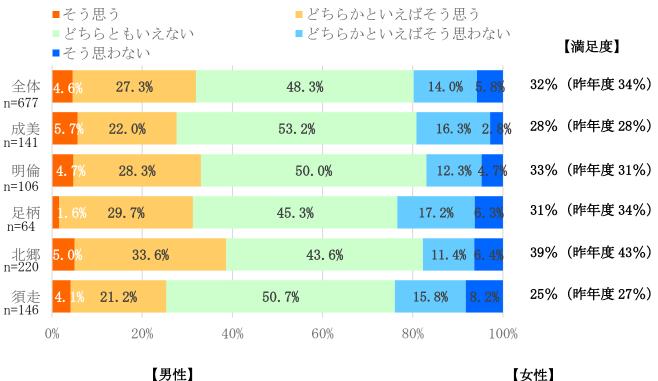


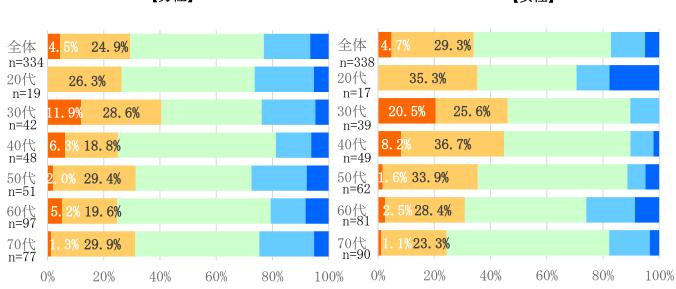


地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(29) 「小山町は"農業"の活性化に取り組んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 32% (昨年度 34%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

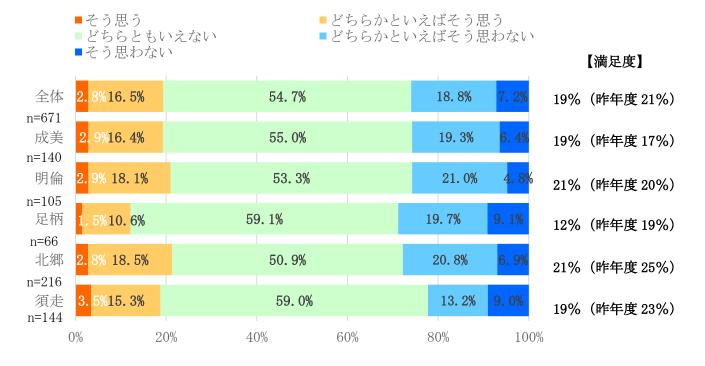


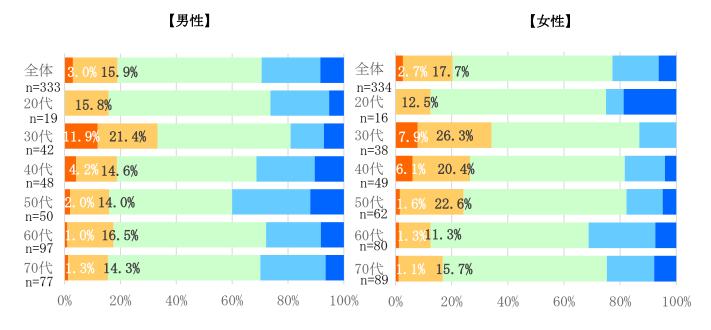


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています。。

間8-(30) 「小山町は"林業"の活性化に取り組んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 19% (昨年度 21%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

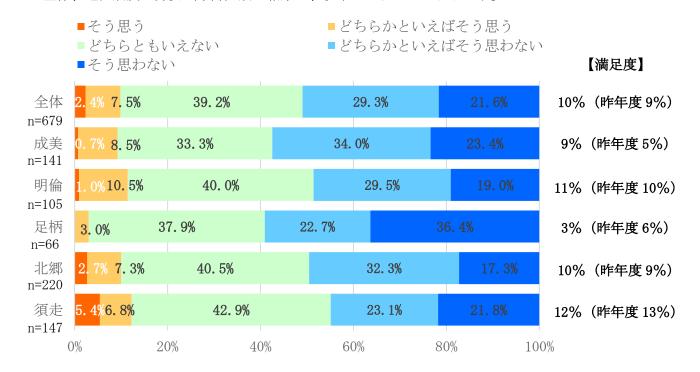


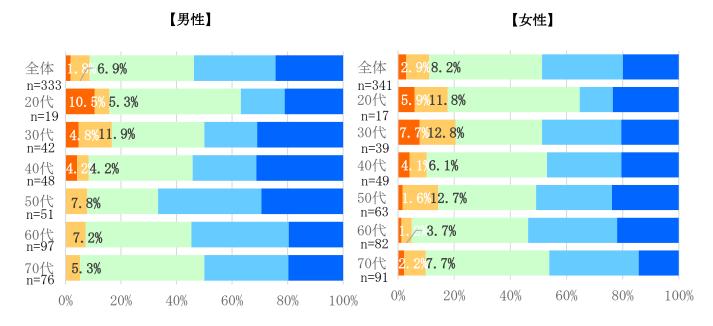


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています、女性は、30歳代が高く、20歳代、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(31) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 10% (昨年度 9%) ※無回答除く全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



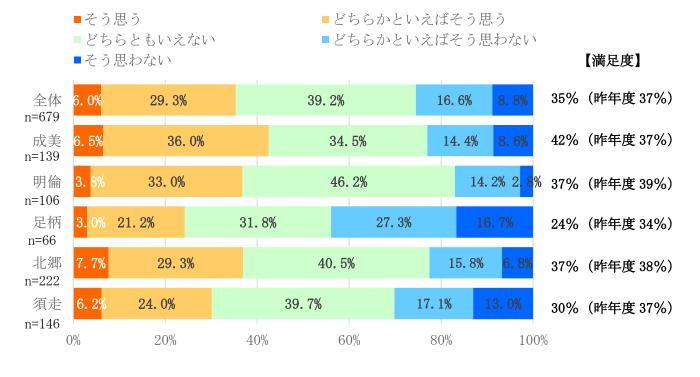


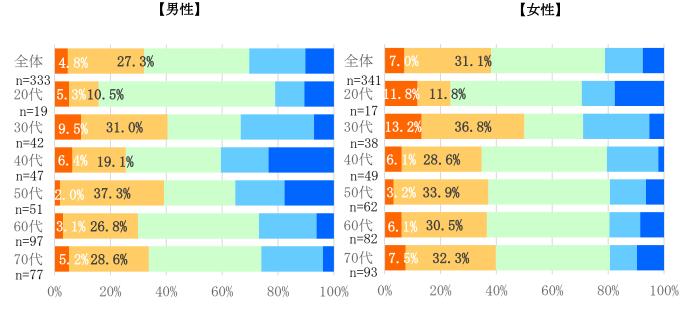
地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(32) 「町は移住・定住施策に積極的に取り組んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **35%(昨年度 37%)** ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

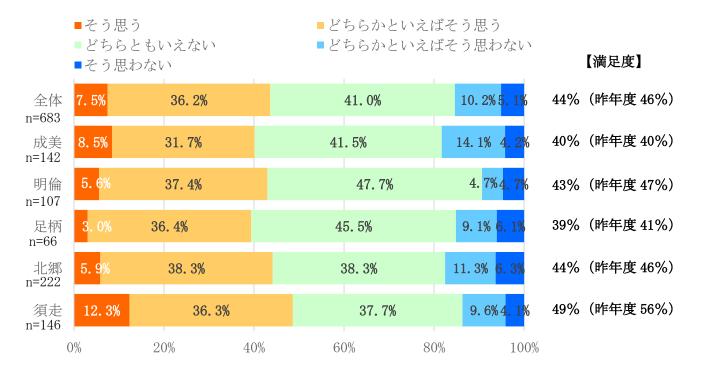


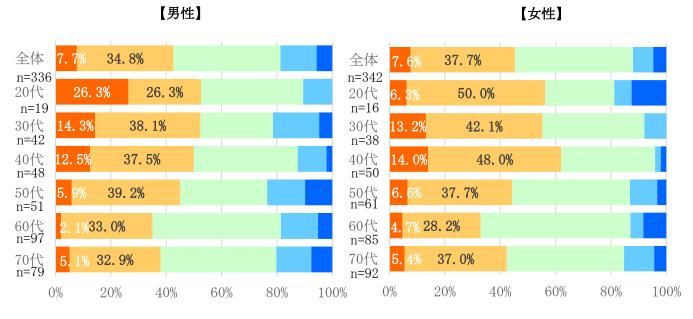


地区別の比較では、成美地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(33) 「町内の自然環境が適切に保全されている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **44% (昨年度 46%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。



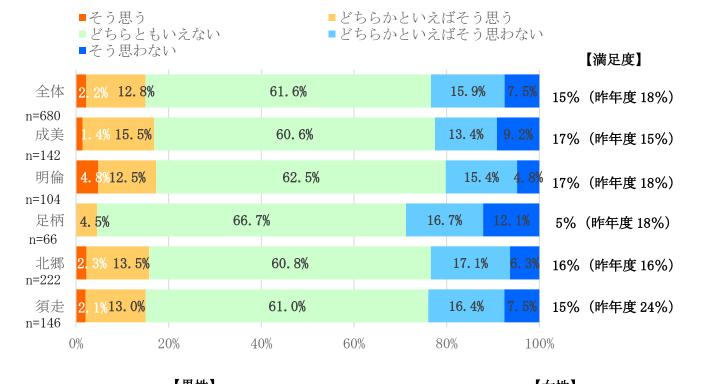


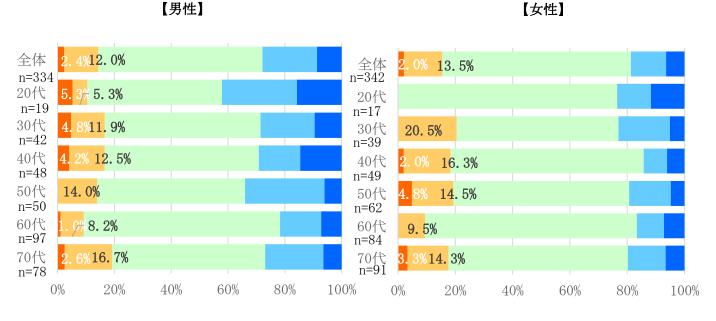
地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、40歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(34) 「小山町は地球温暖化対策が進んでいる」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 15% (昨年度 18%) ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

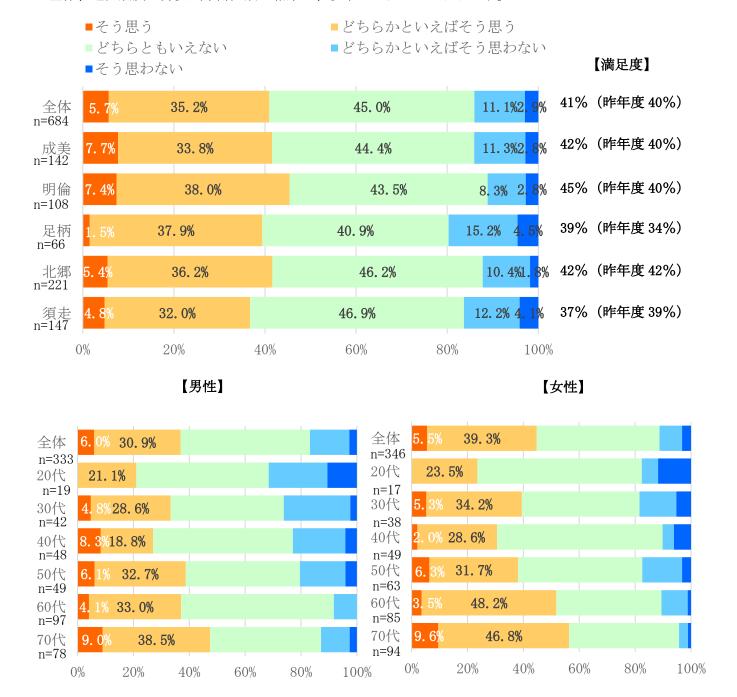




地区別の比較では、明倫地区が最も高く、足柄地区が低くなっています。男女(年齢)別の比較では、 男性は、70歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が 低い(0.0%)という結果となっています。

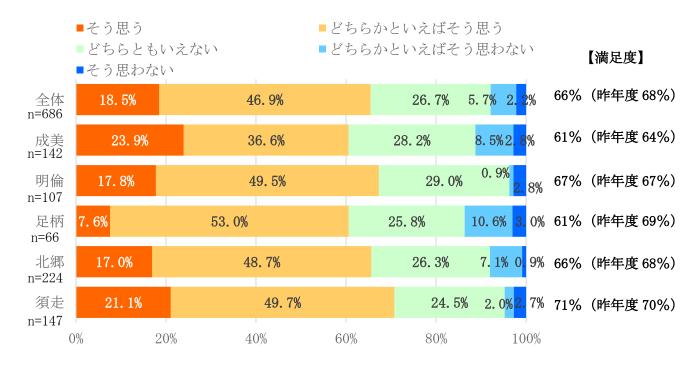
問8-(35) 「小山町はごみの減量化や資源化が進んでいる」

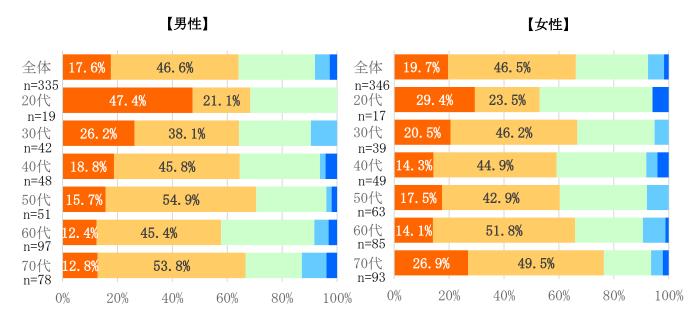
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 41% (昨年度 40%) ※無回答除く全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、明倫地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男女ともに、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(36) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

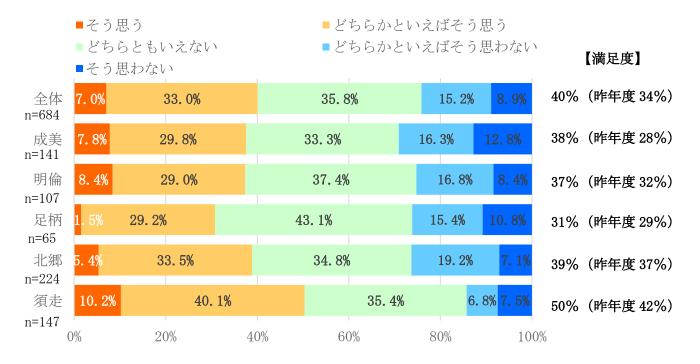


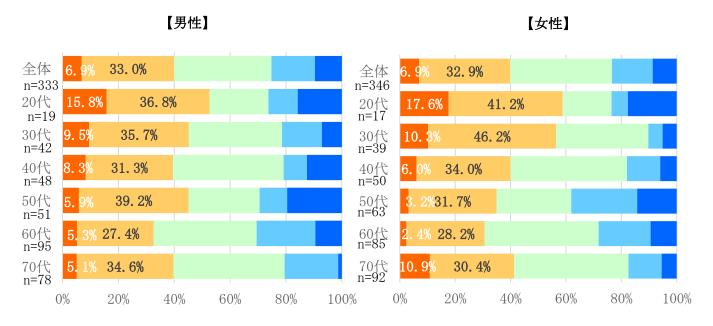


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美・足柄地区が低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(37) 「町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

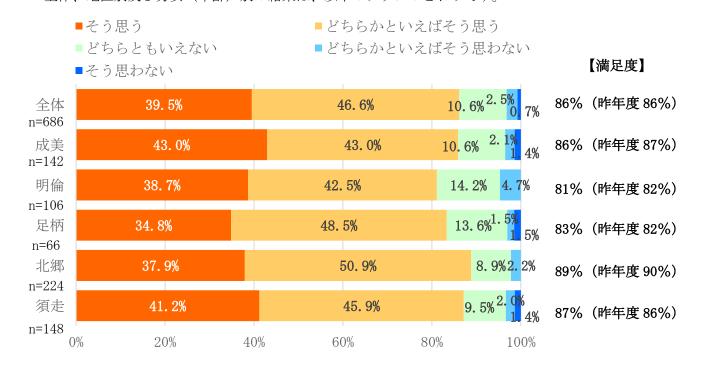
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **40% (昨年度 34%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

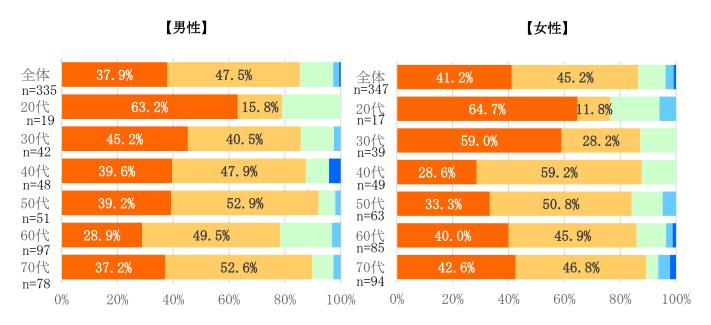




地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男女ともに、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(38) 「安全な水道水が安定供給されている」



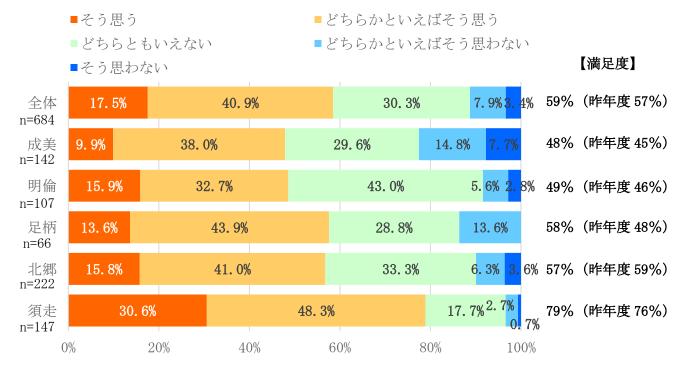


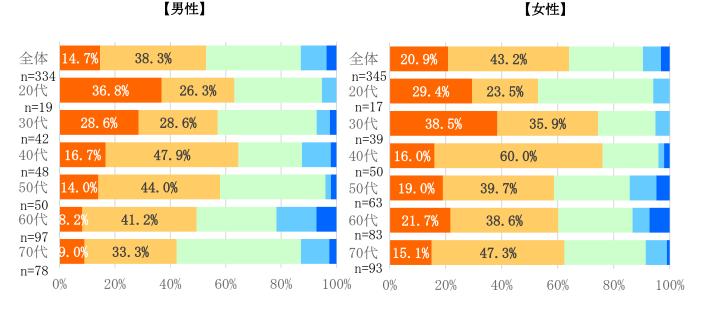
地区別の比較では、全体的に高く、中でも北郷地区が最も高くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、50歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(39) 「汚水(下水)が適切に処理されている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **59%(昨年度 57%)** ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



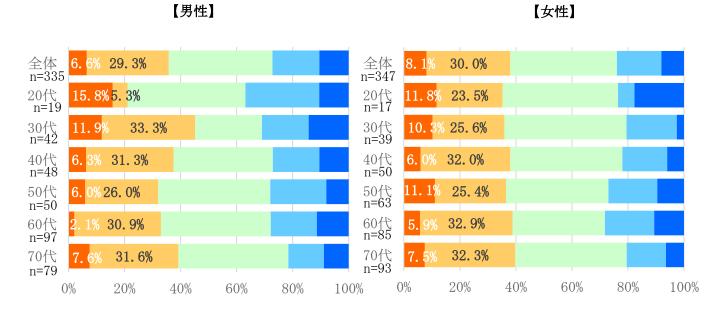


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、40歳代が高く、70歳代が低いという結果となっています。女性は、40歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(40) 「道路網が便利で快適である」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **37% (昨年度 35%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

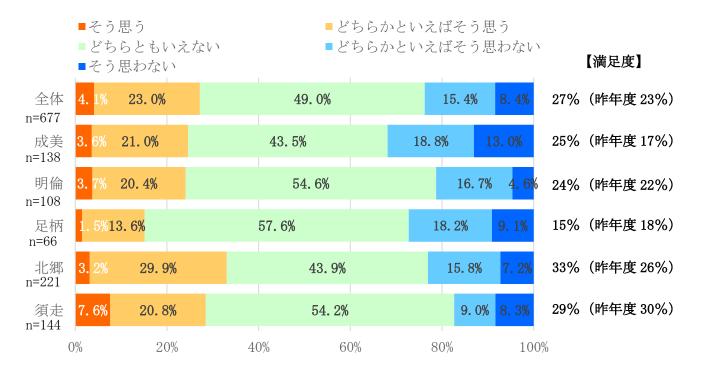
■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■どちらともいえない ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない 【満足度】 37% (昨年度 35%) 全体 7.3% 29.4% 37.7% 16.4% n=68728% (昨年度 24%) 成美 22.5% 33.8% 23.9% 4.9% n=142明倫 8.4% 17.8% 45.8% 20.6% 26% (昨年度 34%) n=10724% (昨年度 36%) 足柄 19.7% 48.5% 16.7% n=66 4. 5% 北郷 34.8% 41.1% 12.9% 39% (昨年度 41%) n=224須走 14.2% 40.5% 25.7% 11.5% 55% (昨年度 37%) n=1480% 20% 40% 60% 80% 100%

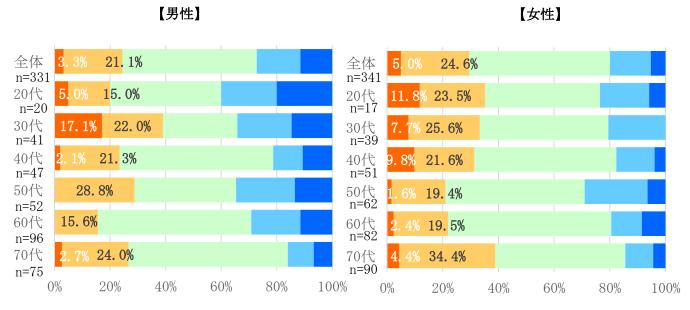


地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(41) 「計画的な土地利用が行われている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **27% (昨年度 23%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。





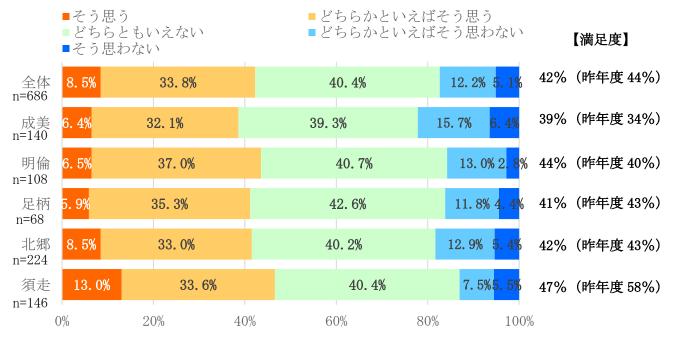
地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。

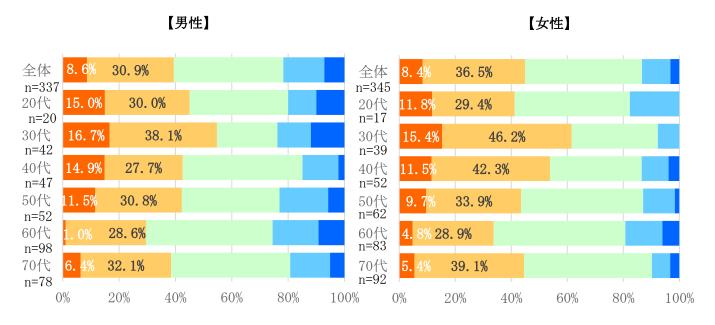
問8-(42) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 42% (昨年度 44%)

※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

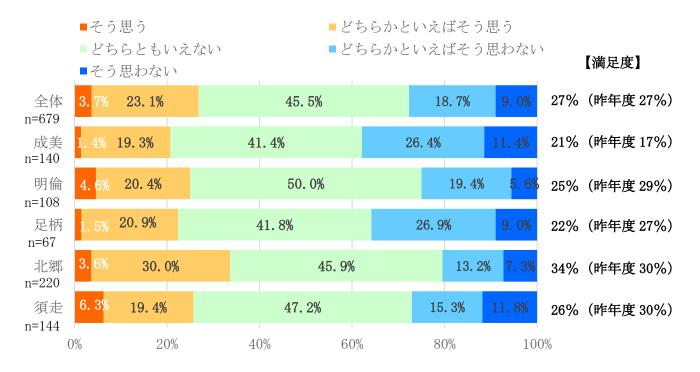


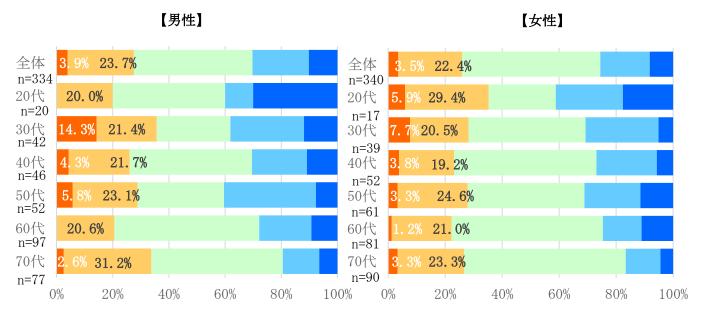


地区別の比較では、須走地区が最も高く、成美地区が低くなっています。男女(年齢)別の比較では、 男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、60歳代が 低いという結果となっています。

問8-(43) 「誰もが住みやすい住環境が整っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **27% (昨年度 27%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

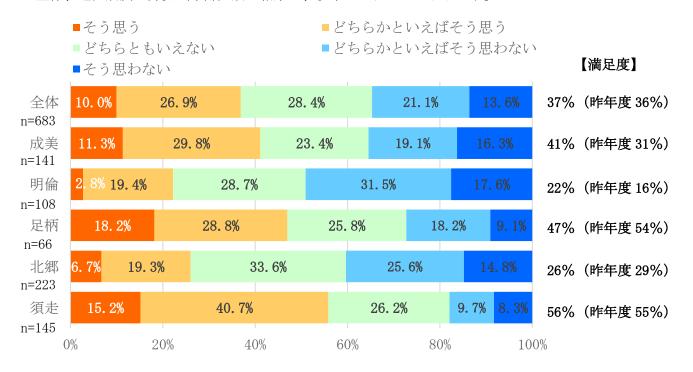


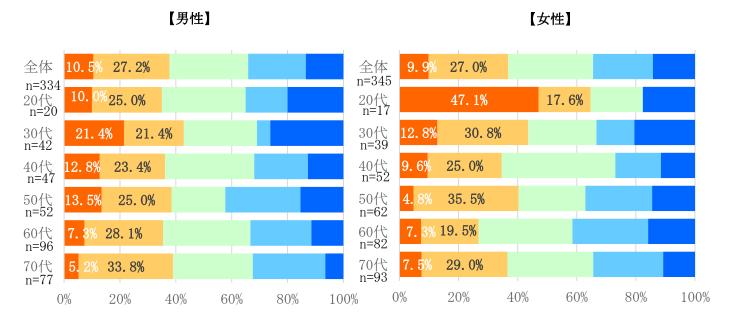


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、成美地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(44) 「自身が暮らす地域に満足できる公園・緑地が確保されている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37% (昨年度 36%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



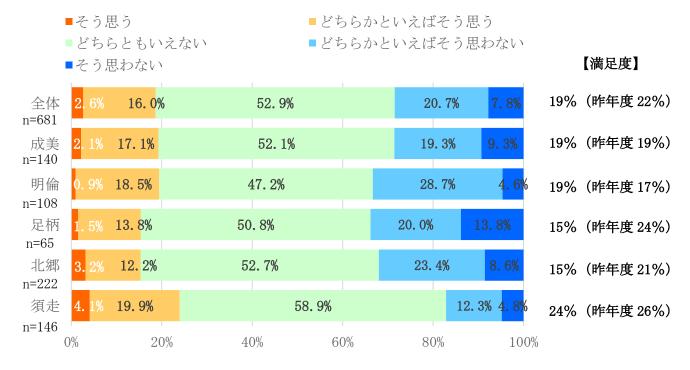


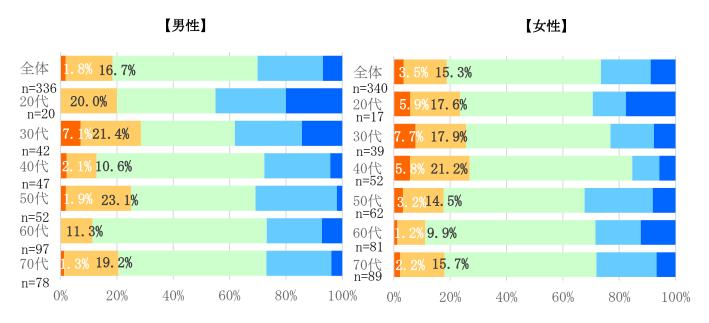
地区別の比較では、須走地区が最も高く、明倫地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(45) 「町民が自主的に参加してまちづくりを進めている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 19% (昨年度 22%) ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

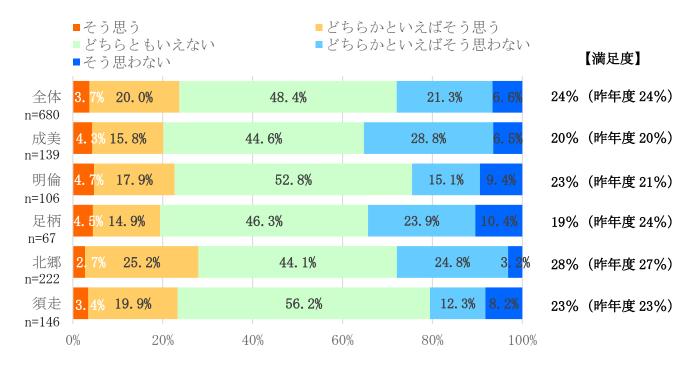


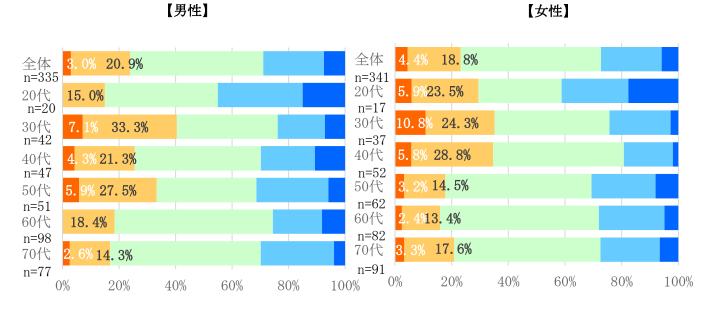


地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、40歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(46) 「地域コミュニティが活発である」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **24% (昨年度 24%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

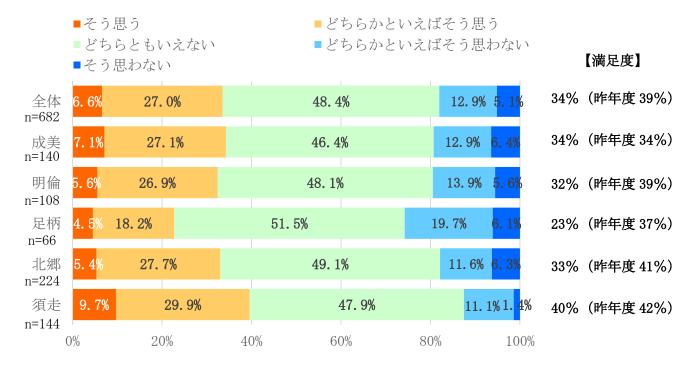


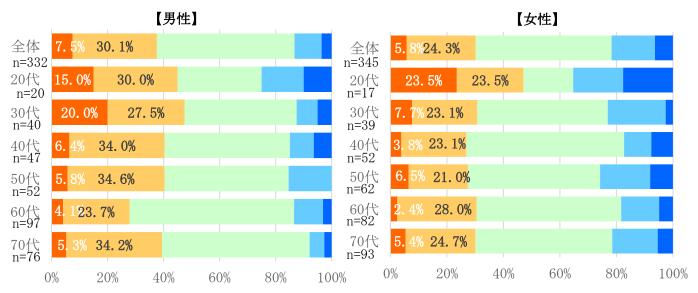


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。

問8-(47) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

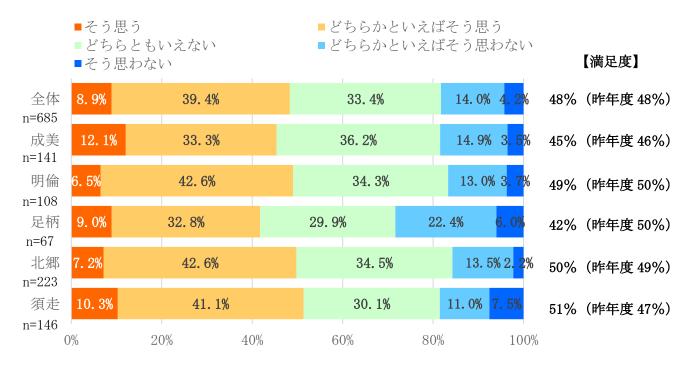
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **34% (昨年度 39%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

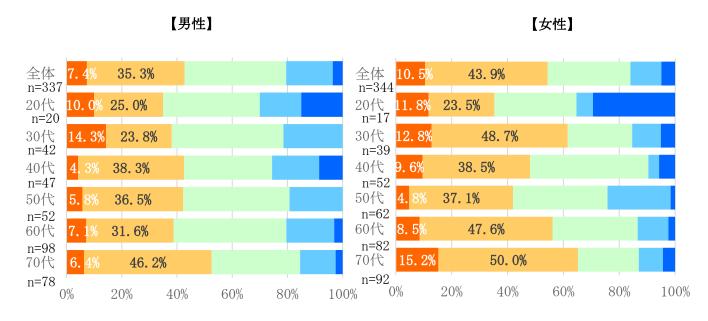




地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、30歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、20歳代が高く、40歳代が低いという結果となっています。

問8-(48) 「町からの必要な情報が適切に伝わっている」



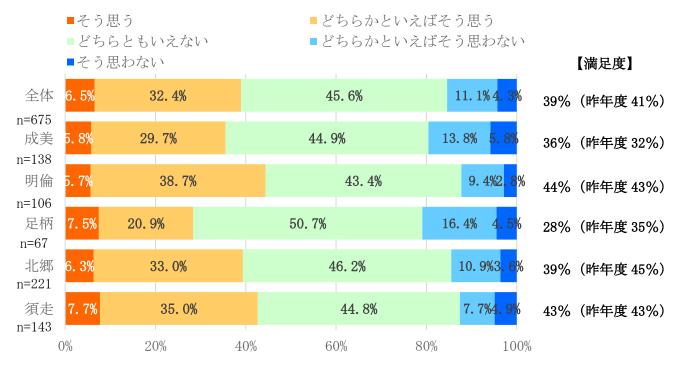


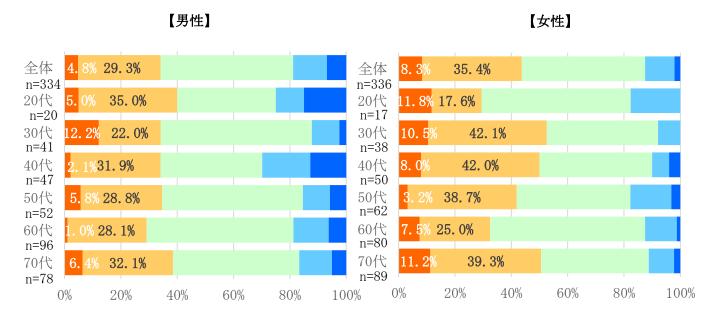
地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(49) 「小山町は周辺市町村と連携している」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 39% (昨年度 41%) ※無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

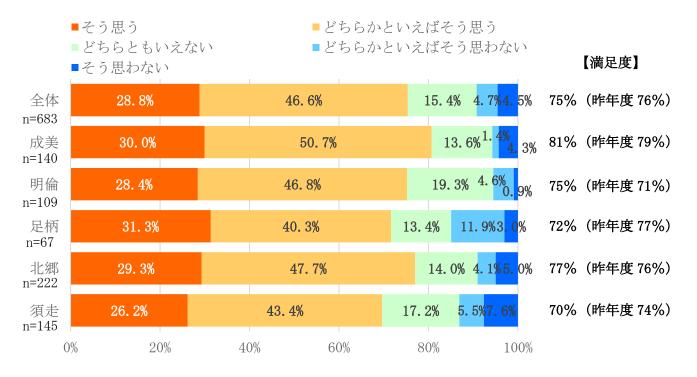


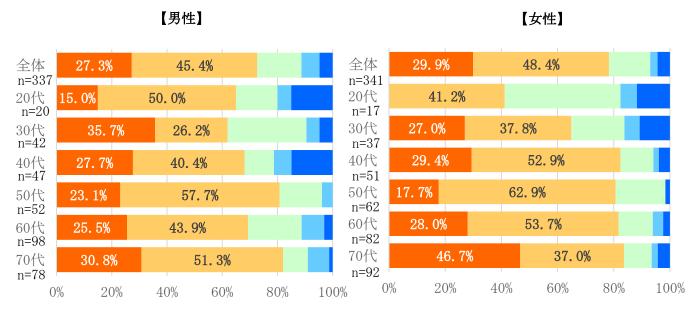


地区別の比較では、明倫地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、20歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、30歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(50) 「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **75% (昨年度 76%)**※無回答除く
全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

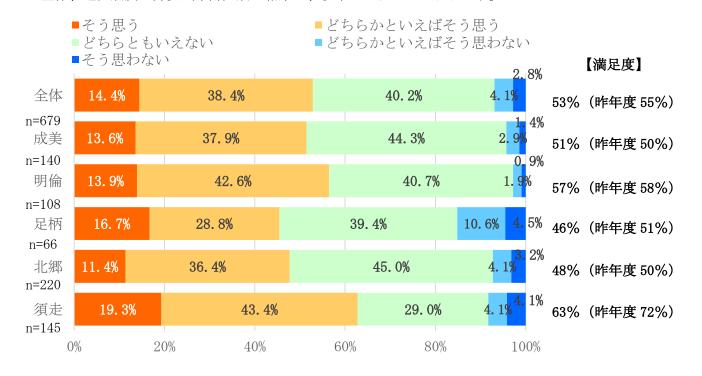


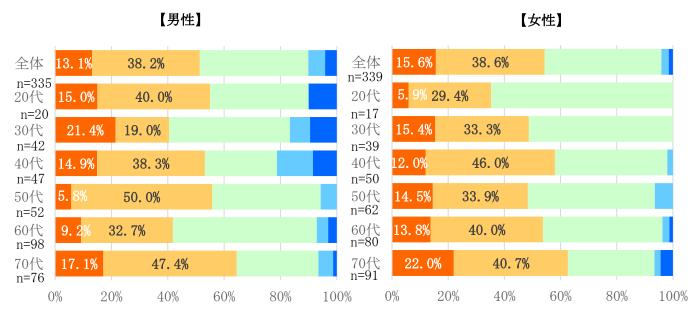


地区別の比較では、成美地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、30歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(51) 「小山町は日頃(有事の際も含む)から、自衛隊と連携が取れている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **53% (昨年度 55%)** ※無回答除く 全体、地区別及び男女 (年齢) 別の結果は、以下のグラフのとおりです。

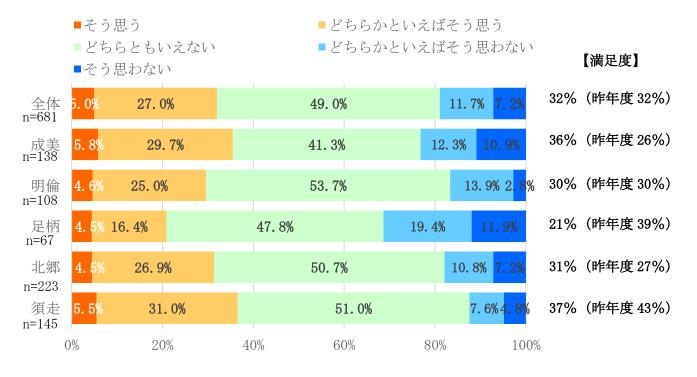


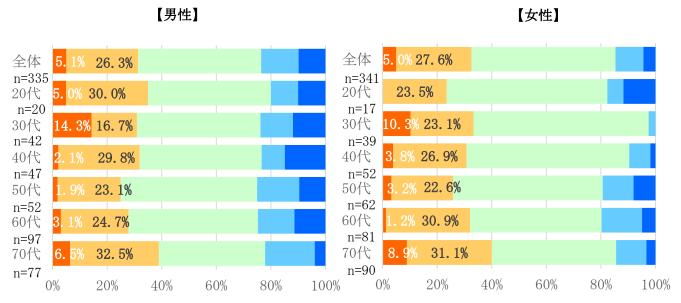


地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、30歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(52) 「町は町民目線に立ち、透明性・公平性の高い行政運営を行っている」

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 32% (昨年度 32%) ※無回答除く全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

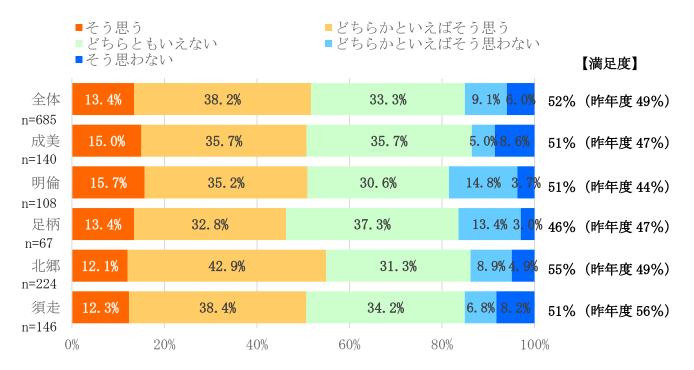


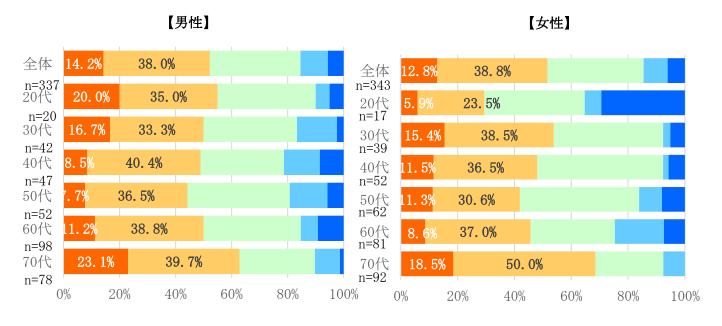


地区別の比較では、須走地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(53) 「町職員の窓口対応及び各種対応に満足している」

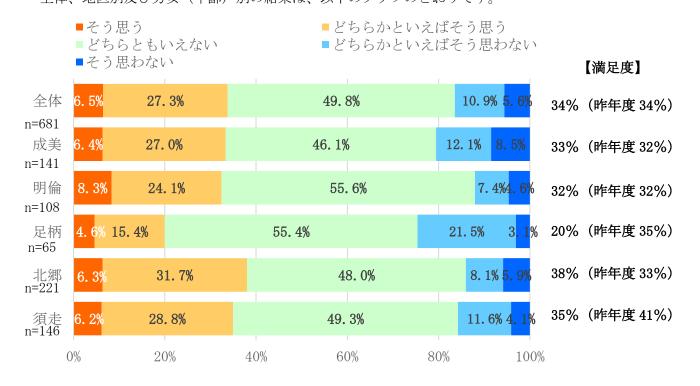
「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 \Rightarrow 52% (昨年度 49%) ※無回答除く 全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

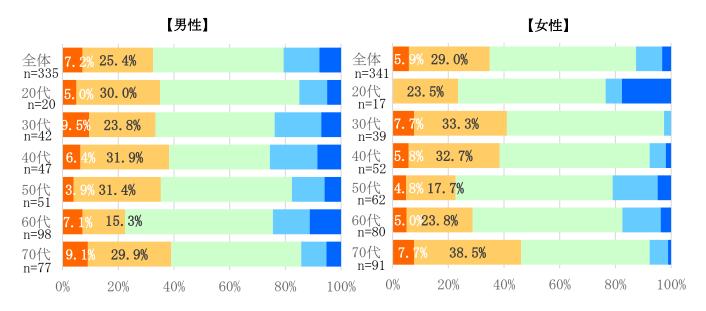




地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。

問8-(54) 「町は効率的・効果的な行政運営を行っている」



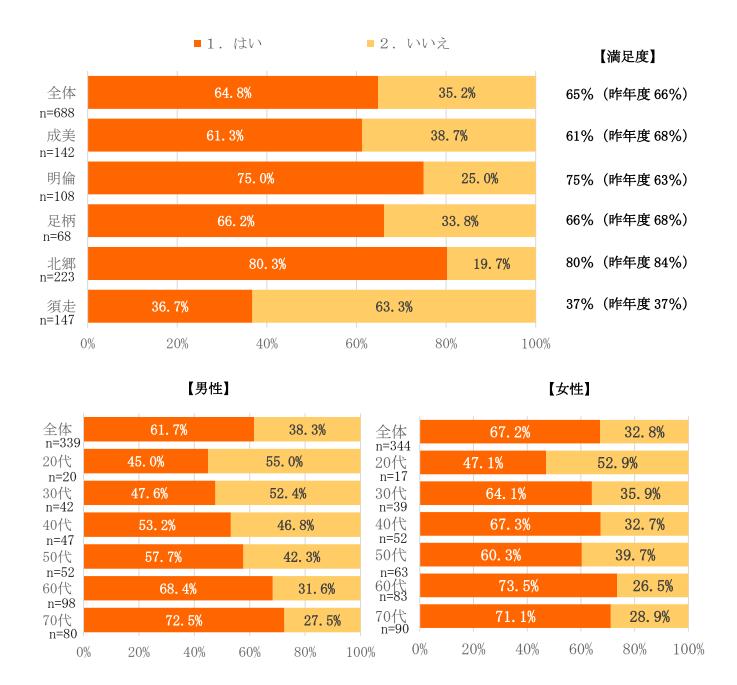


地区別の比較では、北郷地区が最も高く、足柄地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性は、70歳代が高く、50歳代が低いという結果となっています。

問48 「あなたは、普段からご家庭で地元産(小山町・御殿場市)のお米を食べていますか。」

「はい」と回答した町民の割合 \Rightarrow 65% (昨年度 66%) %無回答除く

全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、北郷地区が最も高く、須走地区が最も低くなっています。男女(年齢)別の比較では、男性は、70歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。女性は、60歳代が高く、20歳代が低いという結果となっています。